

一般社団法人 埼玉県経営者協会会報



12・1

'14~'15 月号

# 新春所感

## 会長 西村 和 義

初春を迎え、会員の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、11月から12月にかけて、政治経済両面で激震が走りました。まさに「サブプライムの連続でした。まず、第1のサブプライムは、日本銀行による追加金融緩和とその後の急速な円安ドル高の進行であり、第2のサブプライムは、大半のエコノミストの予測に反した平成26年7-9月期GDP2四半期連続のマイナス成長、第3のサブプライムは、その翌日、安倍総理が消費税10%引上げを平成29年4月へ延期し、この判断を速やかに国民に信

を問うとした衆議院議員の解散・総選挙でありました。そして、第4のサブプライムは、総選挙で自民党の圧勝。2四半期連続のGDPマイナス成長など、アベノミクスの成果に黄色信号が灯つていた状況から、当初逆風が吹くかと思われていましたが結果は前回選挙と同様、自民党の圧勝でありました。

これは、経済の減速、大幅円安等により中小企業、家計への悪影響はあるものの、アベノミクスの成果を信任するという国民の明確な判断が示されたものであります。安倍総理は、景気条項なしで平成29年4月の消費増税を明言し選挙戦を闘つたことから、今後、デフレからの完全脱却と経済好循環の実現に向け、政府の総力を挙げて「アベノミクス第2弾」を策定、その実現に取り組みむものと考えられます。

こうした状況の中で、平成27年度の日本経済を展望いたしますと、主要エコノミストの予測では、実質経済成長率は平成26年度の0%台前半のマイナス成長から、1%

台半ばのプラス成長に好転するものと見込まれますが、今後、日本経済の好循環実現に向けては、「アベノミクス第2弾」という政府頼みだけではなく、まさに我々、民間企業が主役に躍り出る必要があると考えます。

こうした民間企業が主導性を発揮していく上で、経営者は是非とも認識いただきたい事項を、以下3点お話しさせていただきます。

まず、1点目は将来に明るい希望を持つということであり、超高齢社会・人口減少社会の到来による労働力人口の減少が主要因に日本経済は長期的には大変厳しい状況にあります。しかしながら、日本が年平均で10%成長を遂げた高度経済成長時代でも、労働力人口増加の寄与度はわずか1%



程度であり、高度経済成長を支えたのは技術革新と積極的な投資による生産性の向上が成長要因の大半を占めていたのです。労働力人口の減少は経済成長にマイナスに作用することは事実ですが、将来に対し悲観的になる必要はないのです。生産性向上で労働力人口減少は十分にカバーできると考えるべきなのです。

現に40人の日本を代表するエコノミストが毎月予測に参加し、信頼度の高いといわれている日本経済研究センターの最新のESPフォーキャスト調査でも、2016年(20年度)の日本の実質経済成長率は1.2%成長と予測しております。経営者には、日本経済の将来に対してもっと明るい展望を持つていただく必要があるのです。

一方、日本の企業経営に目を転じますと、

経営者の思考の中に依然として「後ろ向き、内向き、下向き」思考が蔓延しているように感じます。この状況を打開するためには、「前向き、外向き、上向き」にマインドセットを変革することが不可欠です。そして、そのためには、「大風呂敷を広げる」ことが必要です。この「大風呂敷を広げる」という言葉は批判的な言葉として使用されるケースが多いのですが、今、経営者に必要なのは、あえて経営者の夢を大風呂敷のようには広げ、社員に語り続けることのような気がいたします。

内外の優れた企業家は、戦略に夢をこめてそれを言葉にして社員や取引先に熱く語りかけています。経営者の皆さんも、時には勇気をもって、「大風呂敷」を広げてみようではありませんか。そして、「大風呂敷を広げる」ことにより、経営者の夢を組織の「エキサイトメント」につなげていただきたいと考えます。

2点目は、スピードよりスタートが重要であるということについてお話しします。よく経済は「規模の経済」から「範囲の経済」へ、そして「スピードの経済」へ移行してきたといわれますが、しかし、実は本当に必要なのはスピードではなく、「スタート」、言い換えれば「始動力」であると思えます。

ある経営者が、「0と1の間は1と99の間より広い」と言っていました。最初の第一歩を踏み出す力、すなわち始動力は、それほど価値のあるものだと思います。よく有能な人材の特徴の1つとして、「仕事が速い」ということがあげられますが、実はこの言葉、単に業務遂行のスピードが速いということよりも、仕事を始めるまでの時間、すなわちスタートが速いということを指すのだと思います。

企業を取り巻く環境が目まぐるしい速度で変化する時代にあつて、経営者が最も重視すべきなのは、「スピード」を重視する経営ではなく、「スタート」を重視する経営、ではないかと考えます。3点目は「学びほぐし」の重要性について

です。経営者の方々にこれまでの自社の経営を振り返っていただきますと、過去に経験した手法に依存し、慣れ親しんだ仕事のやり方に頼つてしまつたという経験を一度や二度はお持ちのことと思います。もちろん過去の経験も大切ですが、それだけでは、現状の「変化が常態化した時代」には対応が難しくなつてきているのです。

こうした状況を打破するために必要となる考え方に「学びほぐし」があります。これは、組織学習研究者として著名なヘドバークにより提唱された「アンラーニング」という概念で、日本の哲学者鶴見俊輔氏が「学びほぐし」と訳したのですが、一度固まった知識の塊をほぐし、必要のないものを捨て新しいものを知識に組み入れる作業のことです。

今後の厳しい経営環境の中で、組織をそして人材を変革し、企業の持続的な成長・発展を図るためには、経営者自身が、思い切つて従来の思考パターンから脱し、新しい環境に身を置くことを通じて、新たな知識を組み入れるという、「学びほぐし」が不可欠のような気がいたします。経営者の皆さんには、是非ともこの「学びほぐし」を心がけ、そして実行していただきたいと考えます。

最後に、本会の事業運営について申し上げます。事業活動につきましては、本年度も経営者向けのトップセミナー、特別セミナー等に加え、委員会・研究会活動など、その内容を充実・強化させてまいりました。こうした取り組みが推進できましたのも、会員の皆様方のご協力の賜物であり、厚く御礼を申し上げます。今後につきましても、こうした取り組みをさらに充実させて、会員の皆様に少しでもお役に立つ事業の企画・運営をしてまいります。

結びに、会員の皆様方のご健勝と事業の益々のご発展を祈念し、年頭の挨拶といたします。

## 西部地区協 議 会

# 本田技研工業株 小川工場にて開催

西部地区協議会（議長・満岡隆一  
ボッシュ(株)専務取締役、当会副会長）  
が十月二十一日(火)、本田技研工業株  
式会社小川工場において関係者を含  
め五十六名が参加して開催された。  
会は事務局の司会で進行し、開会  
で挨拶に立った満岡隆一議長は、本  
田技研工業は、「買う喜び」、「売る  
喜び」、「創る喜び」、この三つの喜  
びを基本理念に、常に地球的視野に  
立ち、世界中の顧客の満足のために、  
質の高い商品を適正な価格で供給す  
ることに全力を尽くしています。そ  
して、常に夢と若さを保ち、理論と  
アイデアを尊重しています。これ  
らのことは、私たち経営者協会の会  
員企業にも大いに参考となるもの  
あり、今回、最新のエンジン工場を  
見学できることは、大いなる喜びで  
あると挨拶された。

次に、埼玉製作所のエンジン工場  
長の伊藤 理氏より歓迎の挨拶をい  
ただいた。

その中で、埼玉製作所は、それぞ

れに特徴がある「狭山完成車工場」  
「寄居完成車工場」「小川エンジン  
工場」、三つの拠点を合わせた事業所  
の総称であり、小川エンジン工場は、  
2007年に着工、次世代環境エン  
ジン生産拠点として、2009年秋  
から稼動を開始している。

当工場が目指すのは、「地域や子  
供達に美しい地域環境を残す」こと  
を目的とする究極の「循環型環境ト  
ップランナー」工場であり、新しい  
グリーンファクトリーとして、最新  
の環境配慮型の生産技術の開発拠点  
となつて、次世代を支える技術・知  
恵・ノウハウを世界中の拠点到展開  
する役割を担っている、と話された。  
続いて、埼玉製作所の紹介DVD  
「最先端のクルマづくりを埼玉から  
世界へ」の放映がなされた。

その後、工場の概要説明が総務ブ  
ロック小川工場グループリーダー古  
別府和之氏よりあつた。

その中で、エンジン専用の工場であ  
る小川エンジン工場は、寄居完成



開会挨拶する  
満岡隆一西部地区議長



歓迎挨拶する  
伊藤理エンジン工場長



概要説明をする  
古別府和之小川工場  
グループリーダー



西部地区協議会風景



メキシコGP 初優勝車「RA272」

車工場や海外の完成工場に、最先端  
の環境対応エンジンを供給する役割  
を担っており、いかに、エンジン一  
台を生産するエネルギーを最小化  
するかを考え、次世代環境型エンジ  
ンのあり方を常に模索し、さらに、  
そのエンジンを世界中に供給してい  
きたいと話された。

その後、二組に分かれ、工場見学  
が行われた。製造部門では、溶解、  
注入、鑄造、取り出しまでが、ホン  
ダ独自の自動で行なわれていた。

## 南部地区協 議 会

# 三州製菓株 エス・テラスにて開催

南部地区協議会（議長・牛窪啓詞  
(株)愛工舎製作所社長、当会副会長）  
が十一月五日(水)、三州製菓(株)エス・  
テラスにおいて、関係者を含め四十  
六名が参加して開催された。

活性化に対する思いは人一倍強い方  
であると紹介された。

会は事務局の司会で進行し、開会  
で挨拶に立った牛窪啓詞議長は、三  
州製菓の齊之平社長は、県教育委員  
会委員長や「埼玉版ウーマノミクス  
推進委員会」の座長を務めた経験も  
あり、教育や女性の活躍、埼玉県の

そして、エス・テラスは融合と地  
産地消をテーマに、和洋折衷のスィ  
ーツや、地元で採れた新鮮な野菜や  
米を使用したカレーなど、ここでし  
か味わえない商品とメニューを用意  
し、店内での各種教室を開き、食育  
や女性の活躍も推進すること、大  
いに期待していますと挨拶を結ば  
れた。

また、機械加工  
部門では、鑄  
鍛造されたエン  
ジン部品は、高  
精度な機械が配  
置された自動化  
ラインによって、  
穴あけ、中ぐり、  
歯切、研磨など  
順を追って加工

## 目 次

○ 新春所感	一
○ 秋季地区協議会・目次	二
○ 経営者協会青年部国大会	四
○ 産業教育フェア	五
○ 第十二回トップセミナー	六
○ 第二回地域社会問題委員会	七
○ 第二回産業教育委員会	七
○ 第二回CSR委員会	八
○ 農業ビジネス研究会	九
○ 第一回・第二回企業戦略研究会	十
○ 働く女性の応援講座	十一
○ 埼玉県労働セミナー	十一
○ 第三回埼玉大学研究開発フォーラム	十一
○ 連載この人・会員企業紹介 (株)びびき 日正好春氏・広告	十二
○ 企業経営動向調査・消費税に關する特別調査	十四
○ 地区会員企業のホットな話題	十八
○ 埼玉大学研究者との出会いの広場	十八
○ ものづくり大学へようこそ	二〇
○ 謹賀新年（紙上名刺交換会）	二二
○ インタビュシップ報告会	二二
○ 会員親睦ゴルフ	二四
○ 埼玉県からのお知らせ	二五
○ 低成長時代の就業規則の見直し・改定のポイント／ワンポイント労働法	二六
○ 日本経団連の動き	二七
○ 事業だより、「自分の中の他人」	二九
○ 告知板、会員の動き	三〇
	三二
	三三

続いて、本会の根岸茂文専務理事より事務局報告がなされ、各種セミナーの案内と、「働き方改革」「生活サポート産業成長支援事業」「認知症サポート企業の登録」「農業参入に係る相談窓口」等について説明があった。

その後、齊之平伸一社長による歓迎挨拶と講演が行なわれた。

その中で、「すべてのものを真に活かす」という理念を実現するための仕組みを構築し、血を通わせるため、地道な努力を続けている。

その一つが、パートを含む全社員に配布する「会社手帳」である。

そこには、経営理念や行動指針などに加え、事業戦略や財務数値を含む経営情報が書かれている。さらに、月次の部門別売上高や原価、営業利益、経常利益などを記入する表が設けられている。



新しくオープンした「エス・テラス」



講演する齊之平伸一社長

この様な重要な「数字」を全社員に告知するのは、リスクもあるが、会社が社員を信頼していることを示す必要があると考えたからである。そして、



南部地区協議会風景



工場見学の準備の様子

「会社手帳」の一番初めのページには、社員一人ひとりの長所を認めた私の書ききのメッセージを書き込んでもらい、新しいことに挑戦する。

こうすることで、自発的で主体性のある人材を育てるための仕組みを整えることが、経営者としての私の仕事だと考えている。

その他にも、「従業員満足度調査」、各人が自分で決めたテーマについて、一年間をかけて研究する「一人一研究制度」や、グループで品質や職場環境の改善などに取り組む「委員会活動」で、現在、クレームゼロ委員会、社内IT化委員会、シスター&ブラザー委員会（新人が職場になじめるように支援する）、など全部で

れた。

その後、八組に分かれ、工場見学が行われた。

工場は、完全に外界と遮断されており、工場内に埃や、菌等々を入れないために、見学者も頭巾、帽子、マスク、白い防塵服、靴カバー、等々を身を包み行なわれた。

ドアは、手を消毒しないと、開かないシステムで、塵を落とすために、空気シャワーを浴び、始めて工場内に入る事が出来た。

この様に、徹底した衛生管理が行なわれており、品質の高さに驚かされた。

見学後は質疑応答までしていたが、南部地区協議会の講演会・見学会は盛会裏の内に終了した。

十二の委員会がある。こうした理念浸透のための仕組みと、理念の共有を最重視していることを明確に打ち出した人事評価制度が両輪となり、厳しい経営環境においても当社が成長を維持する原動力となっていると、話された。

イ生産工場。会は、橋元健議長が開会挨拶、本会根岸茂文専務理事の事務局報告に続き、赤城乳業(株)の須藤芳行執行役員生産企画部長と和田勝生生産本部長から歓迎挨拶と企業概要説明をいただき、その後工場見学へと移行した。

須藤部長は挨拶の中で「赤城乳業は主力商品ガリガリ君のヒットにより七期連続増収で、現在は売上三九〇億円となっている。本庄千本さくら「5S」工場は二〇一〇年に操業開始。製造ラインは殆ど機械化しているが操作するのは人間。工場の名前にあえて5Sを掲げ、操業するうえでの大原則としているが、中でも「5S」が一番難しい。そして、しつけの基本は挨拶からと考え、管理職は率先垂範で毎日正面玄関に立ち、出勤してくる従業員への朝の挨拶を励行している」としつけの重要性を紹介された。

続いて和田次長から会社概要説明をいただき、「赤城乳業のシェアは業界全体の一角に満たないが近年の伸び率は業界ナンバー一となっている。食品製造の生命線である品質管理面では、日本品質を堅持するため従業員教育に注力し、社員教育費用

は同規模の企業と比較すると約三倍を計上している。そして、E SとC Sの同時実現を目指している。工場を推進している5S活動のポイント

は、①見える化、②ポトムアップ活動、③5S評価、④監視員活動、⑤全員参加の五点、これらを通じて工場全体の風通しを良くするとともに改善活動も同時に進めている。また、工場のコンセプトは「見える」「観せる」「魅せる」。工場見学でもお客様に楽しんでいただける工場を目指し、環境面ではゴミゼロ、そして衛生面では製薬会社なみの衛生管理を目指している」と説明された。

その後、参加者を三班に分けて工場内に入り、品質管理室やガリガリ君生産工程などを見学、通路や壁面、天井などいたるところにガリガリ君のイラストなどが描かれ、工場内の床面もソーダ色（ガリガリブルー）に統一されるなど、明るくきれいな工場に感心した。

見学後は参加者から品質管理面や衛生面、光熱費・水道料、季節変動による生産計画立案状況など活発に質問が出され、有意義な見学会となった。

## 地区協議会

# 赤城乳業(株)本庄千本さくら『5S』工場にて開催

北部地区協議会（議長 橋元健キヤノン電子(株)取締役副社長、本会副会長）が十一月十一日(火)、赤城乳業(株)本庄千本さくら「5S」工場にて開催され、四二名が参加した。

本庄千本さくら「5S」工場は、「ガリガリ君」をはじめとする赤城乳業の主力商品を生産しており、日本アイス生産量の約一〇%を製造できる能力を持つ日本最大規模のアイス生産工場。



橋元健議長(本会副会長)、キヤノン電子(株)取締役副社長)



歓迎挨拶…赤城乳業(株)須藤芳行執行役員



工場内のガリガリ君広場

# in 埼玉 じつは、すごいぞ！埼玉 開催

年経営者部会が主管となり、平成26年11月13日(木)14日(金)の両日、埼玉パレスホテル大  
た。

- 「式典の部」
- 「正副部会長会議」
- 第39回経営者協会青年部全国大会スケジュール
1. 開会宣言 直前部会長 川本武彦
  2. 主催者挨拶 部会長 藤池一誠
  3. 歓迎挨拶 埼玉県経営者協会 会長 西村和義
  4. 来賓挨拶 埼玉県知事 上田清司 様
  5. 来賓挨拶 さいたま市長 清水勇人 様
  6. 各地区部会紹介
  7. ヨガでリラックスタイム



全国の皆様をお出迎える  
西村会長と「コバトン」と「ヌウ」



正副部会長会議



来賓挨拶する  
上田清司埼玉県知事



歓迎挨拶する西村和義会長



主催者挨拶する  
藤池一誠部会長



開会宣言する  
川本武彦直前部会長



全国大会の会場風景



来賓挨拶する  
清水勇人さいたま市長

「式典の部」



記念講演する「なでしこジャパン」の  
佐々木則夫監督



ポジティブスターヨガによる「ヨガでリラックスタイム」

# 第39回経営者協会青年部全国大会

第39回経営者協会青年部全国大会 in 埼玉（じつは、すごいぞ！埼玉）が、本会青宮等において開催された。同大会には、全国から若手経営者を中心に182名が参加し



オープニングセレモニーで「セーラームーン」に扮する藤池 部会長



懇親会の部で挨拶・乾杯する眞子岳志副部会長と役員



自己紹介するミスユニバース埼玉グランプリの 園田杏奈さん



次回開催地をPRする「京都」の皆様と「舞妓はん」



奈良青年部会50周年をPRする奈良の皆様



「郷ひろみ」と「松田聖子」のものまねショー

- 「記念講演の部」  
講師 プロサッカー指導者 佐々木則夫氏
- 「懇親会の部」
1. オープニングセレモニー 部会長 藤池一誠
  2. 挨拶・乾杯 副部会長 眞子岳志
  3. アトラクション
    - ・ ミスユニバース埼玉・撮影会
    - ・ 次回開催地京都のプレゼンテーション
    - ・ 奈良青年部会50周年のプレゼンテーション
    - ・ ポジティブスターヨガのアトラクション
    - ・ ものまねショー HIBIKIと神田聖子
  4. サンパショーとエンディング
- 「二次会の部」
- 「11月14日(金)のエクスカージョン」
- ・ 記念ゴルフ大会 霞ヶ関カンツリー倶楽部にて
  - ・ 観光 鉄道博物館・東京スカイツリー等

## 「懇親会の部」



参加者全員でサンパ！サンパ！サンパ！



全国の部会長で万歳三唱のエンディング



記念ゴルフ大会参加の皆様（霞ヶ関カンツリー倶楽部）



エクスカージョン・観光の皆様（東京スカイツリー）

## 本会共催

# 第二十四回埼玉県産業教育フェア開催

本会が共催した「第二十四回埼玉県産業教育フェア」が埼玉県教育委員会と埼玉県産業教育振興会の主催により十一月八日(土)から九日(日)の二日間の日程でさいたま市のソニックシティをメイン会場に開催された。

「輝く夢、広がる絆 明日を築こう彩の国」と題して専門高校等の生徒による学習成果発表と「高校生によるサイエンスフェア」が同時開催され、二日間の来場者は二〇、〇〇〇人にのぼった。

開会式では当会会長 西村和義をはじめ(公財)埼玉県産業文化センター 理事長 相川博氏、(公財)埼玉県産業振興公社理事長 秋山秀次郎氏、埼玉県産業教育振興会

長 大野松茂氏、教育関係では県教育長 関根郁夫氏、専門高校長 会会長 山本安夫氏が参加され盛大に行われた。

開会式後は、高橋理子(株)アーティスト 高橋理子氏を招き、「制約から生まれる可能性」と題した基調講演が行われた。

高橋氏は県立新座総合技術高校を卒業後、東京藝術大学で染織を学び、同大学大学院を経て、平成十八年に自身の会社「HIRORO OLE DGE(ヒロコレッジ)」を設立する。活動は、工芸、ファッション、アートなど、あらゆるジャンルの垣根を越え、日本の伝統に進化をくわえ、「円と直線」をモチーフとした作品を生み出している。同氏は、自分のことを変な人と

いう。子供のころから自分では普通であると思った考えが、周りの人から見たら普通ではないということがたくさんあった。意見が食い違うことがあり、普通とは何だろうと考えるようになる。授業中に鉛筆を解体して構造を確認してみたり、周囲では当然と思っ

る高校の選び方も、同氏にとって普通には思えなかった。目的がなければ高校に行かないという選択肢を持つことは普通のことではなかったらしく、進路相談でもいきなりどの高校に行きたいのかを聞かれて困惑した。勉強は嫌いだったが、ファッションデザイナーになるという将来の目標があったから勉強する理由となった。幼少期から常に考える癖があったことから、選択肢から選ぶことや、こうしなければならぬという思い込みを捨てることは自然と身につけていた。同氏は学生時代に制約があったからこそ自分らしさを発見できたという。例えるなら、制約のない広い柵の中であればいくつもの穴を掘れるが、人生の中では自分に興味のある狭い柵(制約)の中で穴をいかに深く掘るかが重要となる。一点に集中して深く深く掘っていくことで自分らしさを発

見することが出来る。その過程では、制約は制限でなく、一点を追求していく可能性となるという。同氏のこれまでの経験を通じた「高校という制約の中で思う存分穴(可能性)を掘りおこして、狭く深く楽しく追求してほしい」とのメッセージに参加した高校生達は熱心に耳を傾けていた。

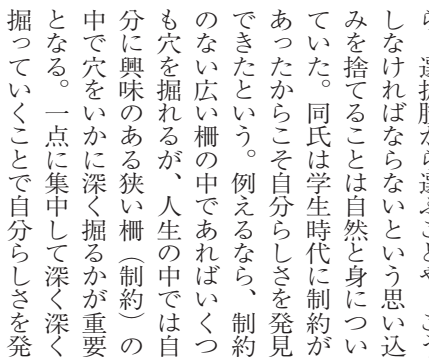
乗車体験の他、「実践的職業教育グローバル事業中間発表会」として「商品開発力交流分野」を中心とした各学校の発表と、生徒開発商品の販売、高校生によるサイエンスフェアでは高校生による小学生のための科学教室、ポスター発表が行われた。

本会は今後とも教育界と地元産業界の連携強化に努め、本県の次代を担う若者の育成に尽力する所存である。関係企業の皆様の一層の御協力をお願いしたい。

高校生が作った商品農作物の販売と作品展示

アイディアロボットコンテスト

アイディア弁当コンテストで昨年度に教育長賞を受賞したお弁当を販売



平成二六年度第十二回トップセミナー

『福島第一原発所長 吉田昌郎氏に学ぶ  
「修羅場のリーダーシップ」』と題して、ノン  
フィクション作家 門田 隆将氏が講演

平成二六年度第十二回トップセ

するノンフィクション作家 門田

ミナーは、十一月二十五日(火)十三時  
三〇分より、パレスホテル大宮三  
階チェリールームにおいて、「死  
の淵を見た男―吉田昌郎氏と福島  
第一原発の五〇〇日」(PHP研究  
所)やプロ野球 伝説の打撃コー  
チの生涯を描き、その後NHKで  
フルスイングとしてドラマ化され  
た「甲子園への遺言」(講談社)な  
ど数々の著作で有名な日本を代表

隆将 氏を講師としてお迎えし、  
「福島第一原発所長 吉田昌郎氏  
に学ぶ「修羅場のリーダーシップ  
」極限状態の中で闘った、一人の  
リーダーの生き様とは」と際して  
講演会を開催、七〇名の方々が参  
加した。

門田氏は冒頭、慰安婦問題の真  
実に触れ、一部新聞社の誤報道の  
対応を厳しく批判、こうした報道  
姿勢が、今回の吉田調書の誤報道  
につながったと厳しく指摘した。

その後、吉田昌郎氏を始め、福



講演する門田隆将氏



第12回トップセミナー

平成二六年度第二回地域社会問題委員会

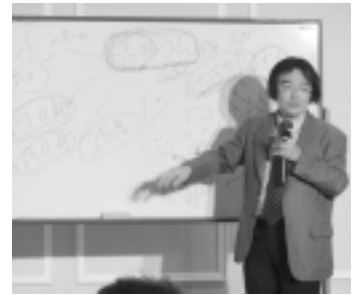
『すぐそこにある脅威―サイバー犯罪から  
会社を守るために』をテーマに「講演を実施  
講演一「サーバー犯罪 その恐るべき実態」  
講演二「企業を守る情報セキュリティ対策」

特定企業に狙いを定め機密情報  
を盗み出したり、不正送金をした  
りするサイバー犯罪がかつてない  
広がりを見せています。  
主要ソフトの脆弱性を突き、外  
部ネットと隔絶したはずの企業内  
システムも対象になるなど手口は

巧妙さを増すばかりです。既に日  
本企業の八割が攻撃の侵入を許し  
ているとも言われており、埼玉県  
内でもインターネットバンキング  
における不正送金事件が急増して  
います。  
こうした現状に鑑み、平成二六



ホワイトボードを使用し命を賭して闘った吉田昌郎所長  
をはじめとした作業員の行動を熱く語っていただいた



2時間30分の講演を真剣に聞く参加者

島原発の極限状態の中で、日本を  
救うために命を賭して闘った作業  
員の方々の行動を二時間三〇分に  
わたり詳細に語られ、参加者が大  
きな感銘を受けた素晴らしい講演  
であった。



第2回地域社会問題委員会



吉浦紀晃氏



藤本大介氏

年度第二回地域社会問題委員会は、  
十一月四日(火)十四時より、ソニッ  
クシティビル四階市民ホールにお  
いて、「すぐそこにある脅威―サ  
イバー犯罪から会社を守るため  
に」をテーマに埼玉県警察本部と  
の共催で開催。  
講演一として、埼玉県警察本部

生活安全部サイバー犯罪対策課 学大学院理工学研究科准教授 吉  
 調査官 藤本 大介 氏から「サ 浦紀晃氏から「企業を守る情報セ  
 イバー犯罪 その恐るべき実態」 キュリティ対策」と題する講演が  
 と題して、講演二として、埼玉大 行われ、四三名の方々に参加した。

## 平成二六年度第二回産業教育委員会

### 県立新座越谷総合技術高校を視察



学校長からの高校概要説明

平成二六年度第二回産業教育委員会は、十一月六日(木)午後、県東部の専門高校で、「電子機械科」「情報技術科」「流通経済科」「情報処理科」「服飾デザイン科」「食物調理科」の六学科を有し、一人ひとりの個性を活かし、広い視野を持った、社会に貢献できるスペシャリストを育成している県立越谷総合技術高校の視察会を開催し、十四名が参加した。

まず、越谷総合技術高校の概要



授業見学



▲生徒の作品▼



説明が行われ、その後、授業見学を行い、最後に教員・生徒との懇談が行われた。

特に生徒との懇談では、来春就職が内定した七名の生徒が出席、各自の就職体験等について意見発表が行われた。各生徒の立派な意見発表姿勢、礼儀正しき等、参加者一同感銘を受けた。



教師・生徒との懇談

## 平成二六年度第二回CSR委員会

### 「障害者雇用促進セミナー」開催

障害者雇用については、雇用の分野における障害者に対する差別の禁止及び障害者が職場で働くに当たっての障害を改善するための措置（合理的配慮の提供義務）を定めるとともに、障害者の雇用の状況に鑑み、精神障害者を法定雇

用率の算定基礎に加える等を骨子とする改正障害者雇用促進法（障害者の雇用の促進等に関する法律の一部改正）が平成三〇年四月に施行されるなど、企業として一段と障害者雇用を求められる環境にあります。



第2回CSR委員会

こうした状況を踏まえ、平成二六年度第二回CSR委員会は、十一月十日(月)十四時よりソニックシティビル四階市民ホールにおいて、本会と埼玉県産業労働部就業支援課との共催により、「障害者雇用促進セミナー」として、障害者雇用に関する講演と事例発表が行われ、一〇一名の方々に参加した。

#### ◆講演

一、「埼玉県内企業への障害者雇用支援について」

講師 埼玉県障害者雇用サポ



主催者挨拶をする  
堀口幸生埼玉県産業労働部就業支援課長





第二回農業ビジネス研究会

# 平成二六年度第二回農業ビジネス研究会 講演会、意見交換会、名刺交換会開催

世界の食市場は、アジアを中心に、今後一〇年間で三四〇兆円から六八〇兆円に倍増すると見込まれます。  
こうした成長市場を取り込み、「強い農林水産業」と「美しく活力ある農山漁村」を創るため、政府は「農林水産業・地域の活力創造本部」を設置し、昨年十二月に

我が国農林水産業・地域の活力創造に向けて政策改革のグランドデザインとして「農林水産業・地域の活力創造プラン」を取りまとめています。  
このプランを実現するためには、既に取り組み始めている農商工連携や医福食農連携等の六次産業化に加え、異業種連携による他業種に蓄積された技術・知見の活用、ICTの活用、生産・流通システムの高度化などが不可欠であり、このプラン実現の過程で様々な業種の企業にとって大きなビジネスチャンスが生まれるものと想定されます。  
こうした認識に基づき、関東農政局、埼玉県農林部等との連携を図りつつ、将来的に農業ビジネス

若林 毅 氏



意見交換会



名刺交換会



事例発表をする沼田道孝氏



講演する笹川俊雄氏



事例発表をする藤野春子氏(左)



三俣政一氏(右)

トセンターセンター長 笹川 俊雄 氏  
二、「障害者雇用事例発表①」  
発表者 税理士法人 第一経営 代表社員 沼田 道孝 氏

「障害者雇用事例発表②」  
発表者 株式会社フコク 業務管理グループ長 三俣 政一 氏  
業務管理グループ 障害者職業生活相談員 藤野 春子 氏



講演する岡本敏男氏



講演する若林毅氏



説明する渡辺実氏



講演する川崎弘貴氏

参入を検討・研究中の企業に対し、情報並びに情報交換機会を提供するために、平成二六年度より「農業ビジネス研究会」を新設。第二回委員会が十一月十七日(月)十三時三〇分より、ソニックシティビル四階市民ホールにおいて開催され、二二名の方々が参加した。  
当日のプログラムは以下の通り。

- ◇講演一  
演題「農業ビジネスにおけるICTの利活用について」  
講師 富士通 イノベーションビジネス本部 シニアディレクター 若林 毅 氏
- ◇講演二  
演題「平成二七年度食料産業局関係(六次産業化・輸出促進等)予算概要要求の概要」  
講師 関東農政局 経営・事業支援部事業戦略課 課長補佐 岡本 敏男 氏
- ◇講演三  
演題「埼玉県における六次産業化の推進」  
講師 埼玉県農林部農業ビジネス支援課 副課長 川崎 弘貴 氏
- ◇説明「企業の農業参入について新しい仕組み」  
説明者 公益社団法人埼玉県農林公社農業振興局長兼農地担い手支援部長兼営農支援部長 渡辺 実 氏
- ◇意見交換会
- ◇名刺交換会

## 平成二六年度第一回企業戦略研究会

### 『ビッグデータが拓く事業機会』と題して （株）三菱総合研究所主席研究員 未来情報 解析センターセンター長 小野 由理氏が 講演

ここ数年、ネットワーク・デバイス両面におけるICTの急速な

進化が多種多様なデジタルデータ（ビッグデータ）の生成・流通・蓄積を促すとともに、そのデータをビジネス資源として有効

活用する取り組みが活発化しています。

具体的には、ビッグデータの活用によって革新的なサービスやビジネスモデルの創出、的確な経営判断、あるいは業務の効率化を図る取り組みが、ICT産業のみならず、様々な業種で活発化してきており、平成二六年度情報通信白書によれば、その効果は二〇二二年で国内全産業の売上高を六〇・



第1回企業戦略研究会



講演する小野由理氏

### 「営業部門の見える化」現場の知恵と秘訣を経営基盤に」と題して、ビジネスコーチ（株）工藤良介氏が講演

今、ナレッジファシリテーションが注目を浴びています。ナレッジファシリテーションとは、企業

のあらゆる分野の社内の叡智を「見える化」し、「ナレッジシ

九兆円押し上げたとの推計もなされております。

こうした状況を踏まえ、平成二六年度第一回企業戦略研究会は、十一月十八日（火）十四時よりソニックスティビル四階市民ホールにおいて、株式会社三菱総合研究所主席研究員で同研究所未来情報解析センターセンター長の小野由理氏を講師としてお迎えし、『ビッグデータが拓く事業機会』と題して開催され、二二名の方々が参加した。

小野氏からは、①ビッグデータの基礎、②ビッグデータ活用の現状と今後の動向、③ビッグデータを事業機会創出につなげるための三点に関し具体的な説明が行われた。

## 平成二六年度第二回企業戦略研究会

### 「営業部門の見える化」現場の知恵と秘訣を経営基盤に」と題して、ビジネスコーチ（株）工藤良介氏が講演

今、ナレッジファシリテーションが注目を浴びています。ナレッジファシリテーションとは、企業

のあらゆる分野の社内の叡智を「見える化」し、「ナレッジシ



第2回企業戦略研究会

なります。現在日本のトップ企業や有力ベンチャー企業二五〇社以上で導入されており、成功法則の「見える化」や「現場の知恵の共有・活用化」に大きな実績を上げています。

こうした状況を踏まえ、平成二六年度第二回企業戦略研究会は、十二月四日（水）十四時より、ソニックスティビル四階市民ホールにおいて、ナレッジファシリテーションの豊富な指導実績を有する、ビジネスコーチ（株）執行役員 イノベーション事業部 事業部長 BCS 認定プロフェッショナルビジネスコーチ 工藤 良介氏を講師としてお迎えし、「営業部門の見える化」現場の知恵と秘訣を経営基盤に「見えない資産の見える化と業績向上」題して開催、四〇名の



講演する工藤良介氏

方々が参加した。

工藤氏からは、「ナレッジファシリテーションによる『成功法則の見える化』が求められる背景とプログラムの独自性」、「導入事例の紹介」についてお話しされ、最後に以下の三点をまとめとして述べられ、講演を終了した。

一、組織の中には、まだまだブラックボックスになっている成功法則が眠っている。優れた成功法則を「組織知」として共有することが、人を育て、組織を強くする。

二、ナレッジの「見える化」にかける時間は最小限に、ナレッジの浸透を徹底するためのフォローアップは時間と手間をかけて行うことが、成果につながる。

三、コーチングだけでは効果的な人材育成は行えない。あるべき成果を上げるために、何をどのように行えばよいか、「社内の

ベストプラクティス」が集約されたナレッジブックを活用したコーピングが能力開発の可能性を大きく広げる。

## 働く女性応援講座平成二六年度第二講 (第四回ウーマノミクス推進委員会)開催

働く女性応援講座平成二六年度第三講(第四回ウーマノミクス推進委員会)は平成二六年十一月十九日(水)十時から十六時まで、埼玉県女性キャリアセンターWith You・埼玉セミナー室で開催され、仕事を



働く女性応援講座第3講

「上司マネジメント」「時間管理術」について学びました。十五時からは参加したメンター五名から、「年上や経験の長い部下、合わない上司との人間関係」「失敗への不安やモチベーションの上げ方など心の持ち方」「時短勤務者の心得」などについてアドバイスをいただき、第三講は終了いたしました。

県、本会、連合埼玉共催「埼玉県労働セミナー」の事業者向けセミナー「度第六講」労働安全衛生法を学ぶを開催



第3回埼玉大学研究開発フォーラム



高崎正也教授



辻俊明准教授



綿貫啓一教授



森田真史教授



埼玉県労働セミナー第6講  
講師：社会保険労務士  
平田正昭氏

今回は、平成二六年六月二五日から施行された改正労働安全衛生

## 『研究開発の最前線を知る』 第三回埼玉大学研究開発フォーラム開催

本会では、企業経営者等に研究開発の最前線を知っていただくことを目的とした。第三回埼玉大学『研究開発フォーラム』が十二月一日(月)一三時三〇分より、ソニックシティビル四階市民ホールにおいて開催され、十四名の方々が参加した。

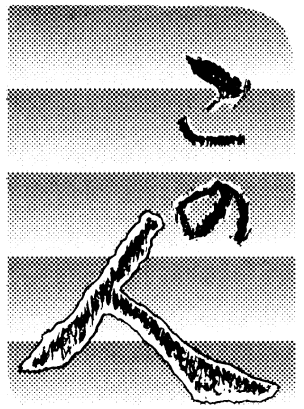
当日は、以下の四つの研究開発の事例発表が行われた。

□研究発表一「上肢下肢の筋力計測機能を活用したトレーニング支援ロボット」  
発表者 埼玉大学院理工学研究科数理電子情報部門 准教授

法の改正点を踏まえながら、安全衛生管理体制など、事業者の取るべき措置を解説し、「安心安全な職場づくり」を再認識することを目的に、「安心で安全な職場環境の確立」労働安全衛生法を学ぶ」をテーマに、社会保険労務士の平田正昭氏より講演が行われた。

辻 俊明氏  
□研究発表二「触覚フィードバックによる視覚障害者コンピュータ操作支援」  
発表者 埼玉大学院理工学研究科戦略的研究部門 教授 高崎正也氏  
□研究発表三「人工股関節摺動面の耐摩耗性向上に関する基礎技術の開発」  
発表者 埼玉大学院理工学研究科人間支援・生産科学部門 教授 森田真史氏

□研究発表四「非侵襲脳機能計測技術を用いた人に優しいヒューマンインターフェイス技術」  
発表者 埼玉大学院理工学研究科戦略的研究部門 教授 綿貫啓一氏



# 株式会社ひびき

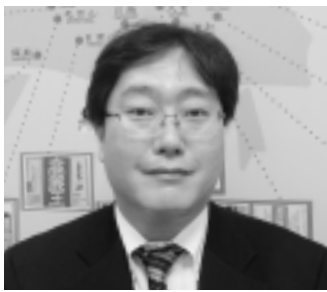
## 代表取締役 日正好春氏

この人の話し口調は飄々と、そして淡々としている。会話ではあまり熱気を感じない。自分でも言っている、「あまり人前で出しやばりすぎるのは好きではない」。

今回の「この人」は株式会社ひびきの日正好春社長。現在四二歳で若手社長だが、この人は青春時代に普通の人では味わえない壮絶な経験をした。

東松山生まれで、隣町嵐山町の小・中学校に通い、学校での勉強以外の時間は家業の養鶏場でエサやりや掃除などをする毎日。必然的に家業手伝い以外の時間がないため、学友と遊んだ記憶はないという。そして夜も家業の焼き鳥屋を手伝うことが日課だった。

高校は当時新設校だった私立川越東高校に入学。放送部に入部し、普通の高校生活を送っていたが、三年生の時大きな転機を迎える。祖父から養鶏養豚場を後継していた父は特製のピリ辛「みそだれ」を考案し国内産の豚の



株式会社ひびき  
代表取締役 日正好春氏

コメカミを使い「みそだれやきとり」として店舗展開していた。しかし、海外の安い冷凍やきとり輸入の影響もあり、事業は厳しい状況となり、さらにやきとりを卸していた店が廃業同様の状態、連帯保証人となっていた父

は七億円という多額の借金を抱えることとなり、事業は廃業に追い込まれた。

高校から帰宅すると借金取りが家に押しかけ、脅されたり嫌がらせを受けることが日常となった。

当然、大学進学どころか一家全員が死に物狂いで働かなければならない状況下で、日正社長はバブル経済初期で景気の良かった広告企画業に注目、十八歳で広告企画業を個人で起業、右も左も分からない状況の中で依頼された仕事は何でも必死にこなしていった。

どんな仕事でも嫌がらずに行う青年の姿勢が大手広告会社から認められ、仕事量も徐々に増えていった。二十歳のときには個人経営から会社組織に切り替え、現在のひびきの前身となる有限会社ひびきを設立する。

人との接し方が温和で、とにかくひたむきに努力する若者は業界からの信頼も得て、お堅いイメージの行政のイベント事やラジオ局の番組づくりの手伝い等、受注も安定してきた。

「自分に広告企画に関する才能があったとは思わない。ただ、約束したことは忠実に実行する姿勢を認めてくれたのだと思う。人と接し方は幼い頃から家業の手伝いなどで大人と接する機会が多かったため、色々な人を観察する力が自然に身についたのかもしれない」と当時をふりかえる。しかし、会社組織を立ち上げても自ら生活しながら父の負債を返

済できるまでの余裕はなく苦しい状況は続く。会社代表として奔走していた二一〜二二歳の頃、さらに転機が訪れる。自らが企画した本川越駅ビルの物産展で出展者にドタキャンされ、苦肉の策として思いついたのは父が廃業した「みそだれやきとり」だった。父がこれにける思いと味への自信は子供心に感じていたので、空席となったテナントを利用し、「本場・東松山名物」と銘打って販売。「ぜひ、また食べたい」というお客様の思いがけない反響もあり、商店街や川越商工会議所の後押しも受け、本格的に店舗を構え販売することとなった。

このときが広告企画業から食品関連へ大きくシフトする転機となった。その後順調に直営店舗やフランチャイズ店を展開、スーパーマーケットや百貨店、物産店、通販などで「秘伝みそだれ」をはじめ自社製品の販売を拡大、食品業界への転換から二〇〇年、現在では年商一三億円を超える企業にまで成長した。

さらに世界食品品評会モンドセレクションで「秘伝みそだれ」が七年連続で最高金賞を受賞するとともに徹底した地産地消の精神とやきとり業界では初のトレーサビリティシステムの開発・導入などによる「食の安心・安全」に対するこだわりなどが評判を呼び、業界紙にとどまらず全国ネットのテレビや新聞、週刊誌などに取り上げられ知名度を上げている。

日正社長は、「とにかく必死に走り続けた

二〇〇年、川越商工会議所をはじめ地域が助けくれたから恩返しで地産地消を徹底し、価格では負ける輸入肉に負けたくないから視点を変え食の安心にもこだわった。それらの取組が現在の消費者ニーズにマッチした結果だと思う」と成長要因をふりかえり、「父の負債で苦しんだが、結果的に父が考案した「みそだれ」が私をここまで育ててくれた。これからは日本を代表する和食の寿司や天ぷらと肩を並べるくらいまでヤキトリという文化の地位を向上させたい」と力強く語り、冒頭の印象とは違う芯の強さをひしひしと感じた。「人」に良い物と書いて「食べ物」。これがひびきの企業理念となっている。

### 〔略歴〕

- 一九七一年 東松山市生まれ
- 一九九二年 広告企画会社 有限会社ひびき 設立
- 一九九四年 食品関連事業に経営をシフト
- 二〇〇三年 新しい埼玉のブランドを作り上げるための勉強会 川越styie 倶楽部設立
- 二〇〇五年 株式会社ひびきに組織変更
- 二〇〇六年 全国やきとり連絡協議会設立 (代表世話人に就任)
- 二〇一四年 農林水産省系ファンド／全農と共同で株式会社J-ACEひびき設立
- 世界食品品評会モンドセレクション二〇一四 七年連続最高金賞受賞

### 〔主な公職〕

- ・農林水産省大臣任命 六次産業化ボランティアプランナー
- ・(社)埼玉県物産観光協会 理事
- ・全国やきとり連絡協議会 代表理事
- ・川越styie 倶楽部 代表
- ・川越商工会議所青年部前副部長

# 生産者と消費者の心をつなぎ、 食の安心・安全の実現を目指す

株式会社  
ひびき

当社は、「人に良い物と書いて食べ物」を理念に掲げ、創業以来、食の安心・安全の実現に取り組んでいます。私たちが納得できない、口にしたいくないと思うものをお客様には提供したくはないからです。逆にいえば、「家族に大切な人に食べさせたいもの」を提供し続けることこそが、食の安心につながると考えています。

そのために、串焼製品の履歴情報開示システム「心をとせたトレ



みそだれやきトン

ーサビリテイ」を開発し、2011年には特許を取得しました。このシステムは、お客様がお店で食べる串焼きが、誰の手でつくられたのかのように流通してきたかを追うことができるものです。豚を育てた農家の方の名前から、その肉を加工して串を打った人の名前まで、すべての生産履歴を公開しています。これにより、お客様の食の安心・安全が担保できると考えています。

また、当社は、ただ料理を提供するだけでなく、お客様と生産者をつなぐ存在でありたいと思っています。当社では、商品に携わるすべての皆様の心の距離を「ハートマイレージ®」と呼んでいます。生産者の思いをお客様に伝え、お客様の思いを生産者に伝える。当社がそうした交流の場となることで、生産者とお客様の心の距離を近づけていきたいと考えているのです。2014年11月に東京・神田にオープンした新店舗「イーハトー

ヴォ料理 銀河浪漫」は、「ハートマイレージ®」を具現化した一つの形です。この店舗は、岩手県産の銘柄豚など岩手の食材にこだわった郷土料理を提供するものですが、当社が目指しているのは「モノ」だけでなく、「ココロ」も伝えること。岩手の農家の方々がどんな思いで豚の生産に取り組んでいるのかを伝えるべく、これまで当社が培ってきた生産履歴の公開に加えて、生産者の方が現地で感じたことなどを記し



みそだれセツト

たメッセージも、お客様がWeb上で閲覧することができるシステムを導入いたしました。また、お客様からもメッセージを載せることが可能です。生産者とお客様がこうした場を通じて、心を通わせることで、昨日までは「知らなかった人」が「知っている人」になり、その思いが深まれば、それぞれにとって、家族のような「大切な人」に変わっていくはずですよ。「地産地消」から「知産知消」へ。当社は、今後も「ハートマイレージ®」の輪を広げ、食の安心・安全の実現にすべく、邁進してまいります。



黒豚やきとり ひびき 東松山駅前本店

More For You  
もっと、街・暮らし・笑顔のために

武蔵野銀行

銀行の常識を変えよう。

埼玉りそな銀行  
RESONA



<http://www.resona-gr.co.jp/saitamaresona/>

# 企業経営動向調査（14年10月）結果

## 調査概要

○調査対象	574社	○資本金別	
有効回答数	158社	• 5000万円以下	73社
回収率	27.5%	• 5000万円超～1億円以下	40社
○業種内訳		• 1億円超～3億円以下	12社
• 内製造業	70社	• 3億円超	29社
• 内非製造業	84社		
○調査期間	10月27日～11月10日		

## 企業経営動向調査結果

### I. 景況判断

1. 国内景気 DI (「上昇」 - 「下降」)		14年7月調査	14年10月調査	○最近の景況判断は、GDPが4-6月期、7-9月期と2期連続マイナス成長になるなどマクロ経済指標の悪化に合わせ、景況判断は大幅に悪化。 ○先行きも依然厳しさが続き、特に製造業ではさらに悪化するとみている。
最近	全社	+9	-12	
	内製造業	+14	-10	
	内非製造業	+4	-14	
先行き (6カ月先)	全社	+19	-15	
	内製造業	+24	-23	
	内非製造業	+14	-8	

2. 業界の景気 DI (「上昇」 - 「下降」)		14年7月調査	14年10月調査	○最近の業界景気は、前回調査比さらに悪化し、引続き厳しい状況にあり、特に製造業の悪化幅が大きくなっている。 ○先行きもわずかな改善にとどまるものの、非製造業では今回調査比10ポイント改善し増税に伴う影響から脱しつつあるようにみえる。
最近	全社	-14	-18	
	内製造業	-5	-21	
	内非製造業	-22	-16	
先行き (6カ月先)	全社	+6	-14	
	内製造業	+13	-23	
	内非製造業	-1	-6	

3. 自社の業況 DI (「上昇」 - 「下降」)		14年7月調査	14年10月調査	○最近自社業況DIは、製造業で大幅悪化したのに対し、非製造業ではわずかながら改善しており、増税による消費低迷から脱しつつあるようにみえる。 ○先行きのDIについては、製造業、非製造業ともにわずかながら改善、特に非製造業では0とは増税による消費低迷の影響がほぼなくなるものとみている。
最近	全社	+1	-9	
	内製造業	+12	-16	
	内非製造業	-8	-4	
先行き (6カ月先)	全社	+16	-5	
	内製造業	+25	-10	
	内非製造業	+7	0	

## II-1. 経営動向 (売上高)

1. 売上高 DI (対前四半期比)	実 績		見 通 し		
	14/4-6	14/7-9	14/10-12	15/1-3	
全 社	-11	(-17) 2	(+29) +16	-12	<ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高 DI は 7-9 月期に前四半期比改善、特に非製造業で改善が大きくなっている。</li> <li>○今後の見通しについては、10-12 月期で引き続き改善するとみており、特に非製造業での改善が顕著であり、増税に伴う消費低迷の影響はなくなるものとみている。但し 15/1-3 月期は、製造業、非製造業ともに大幅に悪化するとみており、先行きの動向に厳しい見方をしていることが窺われる。</li> </ul>
内 製 造 業	-3	(-20) 0	(+25) +4	-13	
内 非 製 造 業	-19	(-14) 4	(+31) +25	-12	

(注)14/7-9、14/10-12 月期の上段の ( ) 内の数値は 14 年 7 月調査時の見通し

2. 経常利益 DI (対前四半期比)	実 績		見 通 し		
	14/4-6	14/7-9	14/10-12	15/1-3	
全 社	-20	(-23) -8	(+18) 1	-12	<ul style="list-style-type: none"> <li>○経常利益 DI の実績は 7-9 月期に全社でわずかながら改善したものの、製造業では横ばいにとどまり、特に非製造業が厳しい状況にあることが窺われる。</li> <li>○今後の見通しについては、10-12 月期は改善するものの、改善幅は売上高 DI に遠く及ばず、収益環境の厳しさが窺われる。また 15 年 1-3 月期は、製造業、非製造業ともに売上高 DI と同様収益状況は大幅に悪化するとみている。</li> </ul>
内 製 造 業	-14	(-20) -14	(+23) -4	-16	
内 非 製 造 業	+13	(-26) -4	(+14) +6	-10	

(注)14/7-9、14/10-12 月期の上段の ( ) 内の数値は 14 年 7 月調査時の見通し

## III. その他

1. 製品の在庫水準 DI (「過大」-「不足」)		14 年 7 月調査	14 年 10 月調査	
最 近	全 社	+5	+12	
	内 製 造 業	+10	+23	
	内 非 製 造 業	-1	3	
先 行 き (6 力月先)	全 社	+1	+3	
	内 製 造 業	+1	+9	
	内 非 製 造 業	0	-3	

2. 生産・営業用設備 DI (「過剰」-「不足」)		14 年 7 月調査	14 年 10 月調査	
最 近	全 社	-7	+3	
	内 製 造 業	-8	+4	
	内 非 製 造 業	-6	+3	
先 行 き (6 力月先)	全 社	-12	+3	
	内 製 造 業	-10	+3	
	内 非 製 造 業	-13	+3	

3. 雇用人員 DI (「過剰」 - 「不足」)		14年7月調査	14年10月調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○最近の雇用人員 DI は、製造業は不足状態が緩和したものの、非製造業は依然大幅な不足状態が続いている。</li> <li>○先行きの DI は、製造業は不足感がほぼ解消するものの、非製造業では依然大幅な不足状態が続くとみている。</li> </ul>
最 近	全 社	-21	-23	
	内 製 造 業	- 8	- 4	
	内非製造業	-33	-39	
先 行 き (6カ月先)	全 社	-26	-21	
	内 製 造 業	-12	- 1	
	内非製造業	-40	-38	

4. 資金繰り DI (「楽」 - 「厳しい」)		14年7月調査	14年10月調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○最近の資金繰り DI は、経常利益 DI の先行きの厳しい見方等を背景に、14/7月調査比、DI は10ポイント程度の悪化に転じている。</li> <li>○先行き DI は依然「プラス」を維持しているものの、わずかながら悪化するとみている。</li> </ul>
最 近	全 社	+17	+ 6	
	内 製 造 業	+12	+ 4	
	内非製造業	+21	+ 7	
先 行 き (6カ月先)	全 社	+ 9	+ 3	
	内 製 造 業	+ 8	+ 3	
	内非製造業	+ 9	+ 4	

5. 販売価格 DI (「上昇」 - 「下落」)		14年7月調査	14年10月調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○最近の販売価格 DI は、全社では14/7月調査比ほぼ横ばいで推移しているものの、製造業ではわずかではあるが、下落傾向が高まるとみている。</li> <li>○先行きの DI は、製造業では14/10月調査並みの下落をみているのに対し、非製造業は下落傾向がさらに強まるとみている。</li> </ul>
最 近	全 社	- 3	- 5	
	内 製 造 業	- 6	-10	
	内非製造業	+ 1	- 1	
先 行 き	全 社	- 2	-10	
	内 製 造 業	- 9	-10	
	内非製造業	+ 5	- 9	

6. 仕入価格 DI (「上昇」 - 「下落」)		14年7月調査	14年10月調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○最近の仕入価格 DI は、14/7月調査比、10ポイント程度上昇するとみており、仕入価格はさらに上昇するとみている。</li> <li>○先行き DI は、14/10月調査比、上昇感はやや和らぐものの、依然高水準での上昇傾向が続くとみている。</li> </ul>
最 近	全 社	+32	+42	
	内 製 造 業	+30	+43	
	内非製造業	+34	+42	
先 行 き	全 社	+35	+34	
	内 製 造 業	+31	+39	
	内非製造業	+38	+31	



## 特別調査『消費税に関する調査結果』

政府は15年10月の消費税率10%への引上げを17年4月に先送りいたしました。本調査は政府判断の出る前に実施した調査結果であります。会員が15年10月の引上げをどのように考えていたのか。また、2020年、2030年の消費税率の水準をどのように考えているのかをまとめさせていただきました。

### 調査項目－1

「15年10月の10%への消費増税についてどのようにお考えですか」

【調査結果集計表】（単位：％）

回 答 項 目	全 社	製 造 業	非製造業
①景気並びに企業経営への影響が大きく延期すべき	45	41	49
②膨大な財政赤字に加え今後の社会保障負担増等を踏まえると予定通り実施すべき。	33	36	30
③どちらともいえない。	22	23	21

○15年10月の10%への消費増税については、「延期すべき」との回答が全社ベースで45%となっている。また、「延期すべき」との回答は非製造業が多くなっている。

### 調査項目－2

現在、日本は少子高齢化が急速に進行、既に人口減少に転じております。こうした状況から今後社会保障給付費の急増が見込まれています。一方、日本の財政状況は現在主要国最悪の状況となっております。こうした状況を踏まえると、2020年、2030年の消費税率はどの程度が必要とお考えでしょうか？

【調査結果集計表】

消費税率	2020年			2030年		
	全 社	製 造 業	非製造業	全 社	製 造 業	非製造業
8%	7	9	6	1	1	1
10%	47	41	52	20	20	20
15%	21	29	16	28	27	29
20%	5	7	2	20	23	17
わからない	20	14	24	31	29	33

○2020年の消費税率水準は「10%」という回答が47%と半数近くに達し、「15%」「わからない」という回答が20%程度となっている。  
○2030年の消費税率水準は「わからない」という回答が31%となっており、「15%」という回答も28%とほぼ同じ比率となっている。

北部 (株)新井機械製作所

米加工のソフト面とハード面、両面に熟知・精通している強み

深谷市に本社を置く(株)新井機械製作所は、新井進二社長の祖父好四郎氏がレンガ職人から独立し、大正一三年に創業した米菓製造業が原点。家業のせんべい店で自家用の製造機械を開発したのをきっかけに、米菓製造機械メーカーとして設立した。

当社の強みはせんべい店として創業した米菓製造のノウハウと、一五から二〇工程あるといわれる米菓製造の工程全てに対応できる機械を研究・開発してきたこと。米菓のすべての工程に対応しているのは全国でも二社だけで、当社は市場シェアの七割近くを占めるトップメーカー。さらに米菓業のノウハウを反映させてきたことによる安定品質やメンテナンスをはじめと

新井進二代表取締役社長



製菓用乾燥機



するきめ細かいサービス面でも定評がある。

近年では、米菓製造機械のトップブランドとして、米国オーストラリア、ヨーロッパ、中近東、東南アジアなどの海外メーカーへの機械納入も伸びており、日本が作る機械から生産される食品の品質の高さが注目を集めている。

新井進二社長は、父である現会長の後を継いで二代目として新井機械製作所の社長に就任。大学卒業後、当社の現場や生産技術、営業(海外担当)などを経験。社長就任後は会社の強みと弱みを分析し、強みを伸ばし、弱みを改善す

DATA

会社名	株式会社新井機械製作所
所在地	本社工場/深谷市沼尻655
所電	話: 048-571-2151
F A X	: 048-573-4695
U R L	: http://www.araiikai.co.jp/
工場	美里町、新潟、滋賀
代表者	代表取締役社長 新井進二
設立	昭和26年6月
資本金	3,000万円
従業員数	74名
事業内容	製菓・食品機械のコンサルティング・開発・設計・製造・販売およびメンテナンス

るしくみやシステムを構築するために奔走している。「完全な成熟産業である米菓製造機械メーカーにとつては、新たな事業展開への着手や次代を担う後継者への事業承継が課題」と語る新井社長。「今は売上を伸ばすよりも、品質、価格、サービス、ノウハウなどでお客様の満足を得るための筋肉体質をつくるほうが優先。そして、最終判断は消費者がしてくれる」と自信をのぞかせる。

新たな事業展開としては、さらなる「コメの深掘り」。平成二五年五月に県産業技術センター、早大先端生産システム研究所、早大発のベンチャー企業、そして新井機械製作所が産学官連携で共同開発した米の低温蒸気加工技術。コメの甘みやうまみが従来の炊飯米よりも多いこと、そして洗米、浸漬などの手間が省略できることが大きな特徴で、コメの付加価値向上の戦略として注目を集め、今後の販路開拓に期待が高まる。

中部 (株)保坂商店

創業一四七七年、創業二〇〇年を、目指し、かつ伸張する企業へ

江戸時代末期の慶応三年(一八六七年)、精製漆の販売業として保坂商店の前身が創業した。今年で創業一四七七年、現大井明社長は六代目の代表となる。

創業から高級漆の精製及び販売を営み、全国各地の漆器屋に質の高い漆を供給し、また、当社の宮内省及び神社仏閣、官公庁、学校、各種鉄道メーカーなどにも漆を納入していた。

戦後の昭和二二年に有限会社保坂漆店を設立、昭和二八年には株式会社保坂商店に改組している。

昭和二五年度より旧国鉄の総代行を担当し、カシュー塗料(漆系の合成樹脂塗料)、パネ防錆剤、エアレス塗装機の納入、その他工業用品を取

大井明代表取締役社長



埼玉営業所



り扱うようになり、国鉄が主力納入先となった。昭和六二年、国鉄は民営化されたが、J R東日本とその関連会社との新たな契約を締結し、塗料指定納入者となり現在に至る。

その後、オートバイのヘルメットやゴルフシャツの塗料などで販路を伸ばし、さらに携帯電話の爆発的な普及により、電話機の表面塗装用塗料で大手数社と契約できたことにより売上高も倍以上に拡大した。

しかし、近年、携帯電話生産の海外シフトへの影響もあり、他分野へ方向転換せざるを得なくなっている。当社は創業以来精製漆の販売も継続

しているが、漆販売業は昭和初期の頃は全国で一〇〇社ほどあったが、現在は当社も含め四社のみが存続している状況だという。

保坂商店は小企業の強みである機動力や歴史を積み重ねてきたノウハウを活かし、あらゆる分野への売り込みや新規開拓に命運をかけている。現状も塗料メーカーとプロジェクトを組みながら、新たな分野や納入ルートを模索中である。

大井明社長は、「常務取締役の長男をはじめ後継者たちに最低あと五十年は事業を継続し、創業二〇〇年を目指してほしい。そのためには、異業種交流も含め人的ネットワークを築き、色々々な人と接することにより様々な知識も吸収し視野を広げてもらいたい」と語り、「とにかく新しい発想でものごとにチャレンジしてほしい」と来年古希を迎える社長は事業承継への思いを口にした。

DATA

会社名	株式会社保坂商店
所在地	(本社)千代田区神田小川町1-10-3 (埼玉営業所)白岡市西4-12-6
電話	0480-92-8001
F A X	: 0480-92-5761
創業	慶応3年(1867年)3月
設立	昭和22年1月
代表者	代表取締役社長 大井 明
資本金	1,260万円
従業員数	7名
事業内容	一般塗料ほか塗料全般、各種接着剤、熱処理用薬剤、精製漆、塗装材料、塗装機器及び設備、包装材料などの販売

## 西部 (株)かにかや

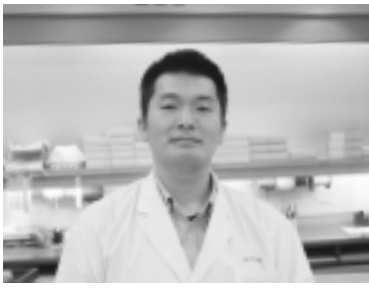
### かにかやのお菓子は 100%自社工場で作る

十一月二十七日、株式会社かにかやさんにお邪魔し、水村真太郎代表取締役にお会いすると、何か、「ほっと」した表情であった。

それは、十月十七日(金)に「所沢けやき台店」(住所・所沢市けやき台一-二十九の一)を開店し、その後店舗の運営が軌道に乗っているからであった。

歴史と文化の地、所沢市にかねてからの念願であったおいしいお菓子の店「かにかや所沢けやき台店」である。

かにかやのお菓子づくりは、地元産や全国各地、及び、海外からの厳選された原材料をひとつひとつ吟味することから始まる。おいしいお菓子は



水村真太郎代表取締役

最高品質の原材料からであり、この当たり前すぎるほどの原則が、お菓子づくりの原点である。そして、心をこめたおもてなしの販売を直営店を通じて行なっている。

かにかやの創業は、昭和二十五年で、六十四年の歴史があり、販売店十一店舗は、全て直営店である。これらからしても、今般の「所沢けやき台店」の開店が当社の大プロジェクトであったことが伺え、水村代表取締役の「ほっと」した表情も理解できた。

さて、お菓子やさんなのになぜ「かにかや」なのかとの問いに、創業の地のすぐ前に、「かにかや」のいる清流があり、



かにかや本店

そのかわい「沢がにの絵」が暖簾(店名)になった。また、「かにかや」は、脱皮して大きく成長していく縁起の良いものとされたので、店名にはうってつけであったとのこと。当社は今まで、あまりPRをしてこなかったが、献上品の多いことでも、他の菓子メーカーにはない特徴がある。昭和三十四年、昭和天皇・皇后陛下へ銘菓「香茶屋」、三十六年、今上天皇陛下へ銘菓「群落さくら草」、三十七年、三笠宮殿下へ「香茶屋」、四十二年、昭和天皇・皇后陛下及び今上天皇陛下へ「香茶屋」、平成十六年、高円宮妃久子殿下へ銘菓「拍手さい彩」、同年、清子内親王殿下へ「拍手さい彩」を献上している。

これらのことは、旬の素材を大切にし、おいしくて、安心な、お菓子を100%自社工場でつくり、心をこめて、直営店で販売するという、大切にしたいお菓子の心の現われでもある。

## 南部 (株)田口型範

### 型造りで世界の リーディングカンパニーへ

株式会社田口型範は、铸造用木型・金型製作で、六十年間培ってきた技術と技能を、最先端技術を駆使し、アナログで残すものと、デジタルに置き換えるものとのバランスをとりながら、顧客の要望に100%対応できる企業です。

とりわけ、試作用木型は世の中で初めて形となつて生まれ出た物で、まさに物造りの出発点です。

百年以上にも亘って鑿・鋳を主要な手道具としてつづけてきた木型業ですが、金型と同様に現在は、3D・CAD CAMとCNC工作機械で製作する時代です。

そして、車両、産業機械・航空機、さらには、宇宙開発関連の分野まで、当社が製作した木型・金型から作られた铸造部品が使われている。ここで、不躰ながら今、話



田口順社長

題になっている3Dプリンターについて、田口順社長に伺うと、3Dプリンターは今話題になっているが、三十年も前からのものであり、米国内で二十年前に実用化され、その時、田口社長も米国に視察に行かれたとのこと。

3Dプリンターは五個程度の製品を作るのに適しており、十個以上はやはり金型が適している。

さらに、3Dプリンターで金型を作ることとは、との問いに、それは意味がないと話された。

当然、当社でも3Dプリンターに対応は出来るが、重要なことは入力するデータそのものが、出来るかどうかだと話された。

当社は、1947年、田口



五軸加工製品

真一初代社長が個人経営として田口木型工所を創立。68年、商号を(株)田口型範に改めた。70年、本社工場を新築。74年、当社が拡大成長出来た要因の一つとなった福島県二本松工場を新設。78年、田口真一社長が黄綬褒章受賞。そして、85年には、勲六等が授与される。89年に、田口真一氏が会長に、田口順氏が社長に就任。96年、埼玉県より彩の国工場に指定される。99年、日本铸造工学会より、短納期・高精度ロストワックス模型製造の業績が認められ「豊田賞」を受賞。07年、「元気なものづくり中小企業300社」に推薦される。

中小物の木型・金型、試作開発品完成まで、さらに、同時五軸CNC加工を駆使し、羽根類加工を主力とした川口・本社工場と、中大物の木型・金型を得意とする二本松工場の2事業所、及び、それぞれに特色を持った企業とのネットワークを最大限に活かし、成長し続けている。

#### DATA

会社名：株式会社田口型範  
本社：川口市中青木2-20-15  
代表者：代表取締役 田口 順  
創業：1947年  
資本金：2,000万円  
事業内容：木型・金型、試作開発品、羽根類加工。  
全社員数：135名

#### DATA

会社名：株式会社かにかや  
本社：狭山市柏原337番地13  
代表者：代表取締役 水村真太郎  
創業：昭和25年10月  
資本金：8,000万円  
事業内容：献上品のお菓子、ヨーロッパのケーキなど高級和洋菓子の製造・販売  
全社員数：80名、平均年齢26歳

# 埼玉大学研究者との出会いの広場

シリーズ  
第86回

今回の内容について、ご関心・興味をお持ちの方は、下記にご連絡下さい。  
 埼経協 専務理事 根岸 茂文、事務局次長 宮田 信久 ☎048-647-4100  
 FAX048-641-0924

## 研究の内容

## 産業への展開



### インクルーシブデザインによるライフサポート機器の開発

埼玉大学大学院理工学研究科 戦略的研究部門 田中 英一郎 准教授

2007年以降、日本は65歳以上の人口が総人口に対し21%を超えた「超高齢社会」に突入し、要介護・要介護者の人口も増大し、介護者・介護者不足が問題となっています。また、少子化の影響から労働力不足が懸念されています。このような現状を打破するために、様々な研究機関や企業で「ライフサポート機器」と呼ばれる、人間の動作を補助するロボット、装置、器具などが多数開発されています。私も今から10年以上前ですが、企業より転職後、高齢者の歩行を補助する装置を作り始め、その研究が広島でテレビや新聞、ラジオなどに取り上げられました。しかし意気揚々と広島大学医学部の弓削類教授のところを持っていったところ、「こんな大きさなものは使えないよ!」と一蹴されました。それからというもの、ライフサポート機器を使うであろう「現場」を知るべく、患者会、医療機関、施設等沢山のところを回り、医師、理学療法士、作業療法士などの専門家だけでなく、患者や介護・介護者の方々のヒヤリングを行いました。その結果、実際に現場で使われるためには、誰にでも何にでも使えるものではなく、使用対象者の状況と目的に応じたハードウェアとソフトウェアの選定が重要であるこ

とが分かりました。それ以降、私はインクルーシブデザインと呼ばれる、様々な分野の方々と共に設計時から開発を進める方法で、弓削先生はじめ多くの方々と共に歩行補助、起立着座補助、上肢作業補助、持ち上げ動作補助を目的とする各種ライフサポート機器を開発して参りました。これらの装置を使用したときの筋活動および脳活動より定量的に評価して有効性を検証しており、実用化を目指しておりますが、これらを世の中に送り出すことは、メーカーの方々しかできません。ぜひともメーカーの方々のご協力をお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。



- ・高齢者、患者、介助者に対する歩行補助、起立着座補助、上肢作業補助、持ち上げ動作補助を実現する各種機器の実用化。
- ・熟練者の目視による機械装置および機械製造時の異常診断の自動化。

#### 学歴・略歴

田中 英一郎  
 (たなか えいいちろう)  
 東京工業大学大学院総合理工学研究科博士課程修了、博士(工学)。日立製作所機械研究所研究員、広島大学助手、芝浦工業大学講師・准教授を経て2014年より現職。専門はロボット工学、機構学、福祉工学。



### 分子の「利き手」を見分ける—光学分割法の開発

埼玉大学大学院理工学研究科 物質科学部門 小玉 康一 助教

人間には左右の利き手があるので、市販のはさみにも右利き用と左利き用があります。これらは良く似ていますが、どのようにひっくり返しても同じものではありません。数十億分の1メートルの分子の世界にも、右利き(+)と左利き(-)の対が存在します。鏡映しの関係にあるこれらの分子を鏡像異性体と呼びます。

この鏡像異性体は全国一の医薬品製造高を誇る埼玉県にも関係が深く、市販されている医薬品のおよそ3分の1は(+)体と(-)体のどちらか一方の鏡像異性体です。例えば、かぜ薬に含まれているイブプロフェンは(+)体にしかほとんど薬効がありません。これはヒトの体を構成するタンパク質などの生体物質が一方の鏡像異性体だけから成り立っているからです。左利きの人には左利き用のはさみしか使えないのと同じ理屈です。しかし通常の方法で得られる医薬品は(+)体と(-)体が同量ずつ混ざったものになります。鏡像異性体どうしは性質が似ているため、その一方だけを導くことは容易ではありません。

我々は鏡像異性体を分離する方法—光学分割法—についての研究を行っています。目的物の(+)

体と(-)体を見分けるためには、分割剤と呼ばれるものを利用します。分割剤もまた一方だけの鏡像異性体であるため、イブプロフェンの例と同じく、目的物のどちらか一方の鏡像異性体とより強くマッチングします。その相性の程度の違いによって、水やアルコールなどの溶媒への溶解性に差が生じるため、一方の鏡像異性体だけを取り出すことができます。

最近我々は、同じ分割剤を用いてもただ溶媒を変えるだけで、マッチングする鏡像異性体の利き手が逆転する系を発見しました。分割剤は高価なものが多いため、これは一種類の分割剤で両方の鏡像異性体を得られる効率的な方法です。分子の利き手を見分けることのできる分割剤を合理的に設計できれば、医薬品や農薬などを安価に提供できるようになると期待して研究を進めています。



光学活性化合物の製造、医薬品・農薬・香料などへの利用

#### 学歴・略歴

小玉 康一  
 (こだま こういち)  
 1980年生まれ。東京大学工学部卒業。2007年東京大学大学院工学系研究科化学生命工学専攻博士課程修了。博士(工学)。横浜国立大学博士研究員を経て、2008年から現職。専門は有機化学、超分子化学、結晶工学。

# 「ものづくり大学」へようこそ

連載  
第67回

今回の内容について、ご関心・興味をお持ちの方は、下記にご連絡下さい。  
埼経協 専務理事 根岸 茂文、事務局長 宮田 信久 ☎048-647-4100  
FAX 048-641-0924



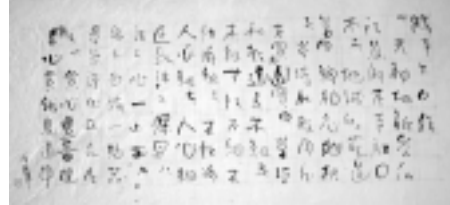
## 法隆寺の口伝に学ぶ

建設技能工芸学科 藤原 成 曉 教授

日本を代表する古建築といえば、先ずは奈良県斑鳩の里にある法隆寺が思い浮かびます。世界遺産にも登録されている現存する世界最古の木造建築ですが、建立後一度焼失し711年頃再建されたとされ、後の約1,300年もの間その命を繋いで来ました。木造建築にとって地震・台風・雷・火災・虫害など、決して好条件とは言えません。それにも拘わらず、何故これだけ長寿なのでしょう。主要な用材は樹齢千年以上の桜を使います。そこあるのは、建築物として生まれ変わってからその樹齢以上次の樹が育つまで現役であり続けるという、究極のエコ思想です。建築として生まれ変わった檜が更にその樹齢より長く生きられたなら、時間に「おつり」ができて命の貯金ができます。このことを可能にする十項目にわたる宮大工の口伝は飛鳥時代から現代に至るまで連綿と伝えられてきました。この「鶴寺工口伝」を学生諸君と共に学びながら、ものづくりの一端を担って行こうと考えています。

鶴寺工 口伝

- |                                |                                       |
|--------------------------------|---------------------------------------|
| 一、天神地祇を崇めず、仏法を賛仰せずして寺社を口にすべからず | 七、人の心組みは匠長が諸工への深い思いやり                 |
| 二、地域伽藍造営は四神相應の地を選べし            | 八、諸工の心一つに止まるを正という                     |
| 三、堂塔社殿の用材は、木を買わず山を買え           | 九、諸工の百論一つに統ぶる器量の無き者は、慎み伏して匠長の座を去るべきなり |
| 四、堂塔社殿建立は木組み                   | 十、貧にして心豊かなるは菩提の種、富みて心貧しきは戩鬼道と申すべし     |
| 五、木組みは木の曲組み、寸法で組まず木の曲で組め       |                                       |
| 六、木の曲組は人の心組み                   |                                       |



筆者が写した口伝

藤原 成曉 (ふじわら なりあき) 教授、武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業、一級建築士、インテリアプランナー、一級建築施工管理技士。鬼頭梓建築設計事務所などを経て東京に設計事務所設立。2006年4月からものづくり大学助教授、現在教授。日本建築学会会員、日本インテリア学会会員、日本建築家協会会員、東京建築士会会員。著書「歩く・見る・描く・デザインするースケッチで脳を触発しようー」(彰国社)。(連絡先: 048-564-3850/fujimura@iot.ac.jp)



## オトクツと再生可能エネルギー等で産学連携

製造学科 菅谷 諭 教授

ユニバーサルデザインを考慮した足で演奏する靴型楽器「オトクツ」を開発致しました。子どもからお年寄りまで誰でも簡単に楽しく演奏でき、リハビリテーションや介護予防にも効果的であることを確認致しました。今回はさらに視覚障害者用の楽譜を開発し、視覚障害者の方にも簡単に楽しく演奏していただけることを確認致しました。今後の課題は、さらに利用可能者を広げることによりユニバーサルデザイン化を実現することです。

「オトクツ」は、テレビ東京の「トレたま」やNHKの「まちかど情報室」で取り上げられ、また全国手づくりアイデア楽器コンテスト「優秀賞」やホビー大賞「ユニーク賞」などを受賞して、大きな反響を呼び製品化が望まれております。そこで、大学発ベンチャー企業の「もの大カンパニー」で販売するために、産学連携で製品化を目指しております。



さらに、次のことを産学連携で進めて、地域づくりを目指しております。マイクロ水力発電と太陽光発電などを組み合わせたハイブリッド発電で地の利を匠に活用した再生可能エネルギーを実現し、エネルギーの地産地消、および環境負荷の少ない持続可能な経済社会の創生に貢献することを目指しております。例えば農業用水用のマイクロ水力発電の検討や、雪面からの反射を利用した太陽光発電の検討などを行っております。また、農業気象情報データベースと営農のためのノウハウ、データベースによる営農支援事業などを検討し、経験の浅い移住者でも短期間で実利のある農業生産が可能になるように支援することを目指しております。今後とも産学連携を積極的に進めたいと考えております。



菅谷 諭 (すがや さとし) 教授・博士(工学) 東北大学大学院終了、NEC、アリゾナ大学オプティカルサイエンスセンター、静岡理工科大学助教授を経て2006年4月からものづくり大学。特許出願45件、電子情報通信学会、応用物理学会、NEDO ナノテクノロジーロードマップ検討委員会、産業構造審議会研究開発小委員会、産学連携教育推進委員。(連絡先: 048-564-3835/sugaya@iot.ac.jp)



# 謹賀新年



## 2015

紙上名刺交換会 到着順掲載

<p>代表取締役 会長 株式会社 デサン</p> <p>後池博治</p>	<p>頭取 株式会社 武蔵野銀行</p> <p>加藤喜久雄</p>	<p>社長 株式会社 埼玉りそな銀行</p> <p>池田一義</p>	<p>相談役 日本信号株式会社</p> <p>西村和義</p>	<p>代表取締役 会長 武州ガス株式会社</p> <p>系宏</p>
<p>代表取締役 会長 牛山電工株式会社</p> <p>吉田弘</p>	<p>代表取締役 会長 日本伸管株式会社</p> <p>細沼哲夫</p>	<p>代表取締役 会長 株式会社ビツクルスコーポレーション</p> <p>荻野芳朗</p>	<p>代表取締役 吉野電化工業株式会社</p> <p>吉野寛治</p>	<p>代表取締役 社長 株式会社サイニチホールディングス</p> <p>橋本宏太郎</p>
<p>代表取締役 大野建設株式会社</p> <p>大野年司</p>	<p>代表取締役 株式会社愛工舎製作所</p> <p>牛窪啓嗣</p>	<p>代表取締役 社長 埼玉機器株式会社</p> <p>西海栄一</p>	<p>代表取締役 社長 株式会社丸善</p> <p>原啓康</p>	<p>代表取締役 社長 埼玉トヨペット株式会社</p> <p>平沼一幸</p>



紙上名刺交換会 到着順掲載

代表取締役  
三原 宏 治  
日本自動車管理株式会社

代表取締役  
松本伸一郎  
株式会社 松本商会

代表取締役  
齊之平伸一  
三州製菓株式会社

代表取締役  
玄間 敏  
日本地工株式会社

代表取締役  
川本武彦  
株式会社サイサン

代表取締役  
C H O 楽原 志功  
株式会社 あなたの幸せが私の幸せ...

代表取締役  
宇野三花  
関東自動車株式会社

代表取締役  
川 健人  
新電元工業株式会社

代表取締役  
木村和男  
株式会社中央デパート

代表取締役  
出牛洋行  
日本イスエード株式会社

社一般  
法人 埼玉県経営者協会  
専務理事 根岸 茂文  
職員 一同

代表取締役  
望月 諭  
望月印刷株式会社

代表取締役  
亀井寿之  
亀井産業株式会社

代表取締役  
高橋洋三  
武州産業株式会社

代表取締役  
会 長 原 宏  
代表取締役  
社 長 茂木通則  
坂戸ガス株式会社

# インターンシップ成果・課題報告会 受入先、大学と実習学生との パネルディスカッションを開催

平成二十六年大学生インターンシップ推進事業の成果・課題報告会が十一月二十八日(金)午後、ソニックシティビル六〇二研修室で開催され、受入先、大学関係者、実習した学生ら六十一名が参加した。

会は、清水健太郎埼玉県産業労働部産業人材育成課主幹が開会挨拶、続いて「平成二十六年度埼玉県大学生インターンシップ推進事業実施概況」と題して、宮田信久本会事務局次長兼調査部長(インターンシップ事務局統括)から今年度夏季インターンシップの実施状況やアンケート結果の報告が行われた。

## ◇報告の概要◇

○夏季インターンシップ実施学生二二九〇名(対平成二五年度二五四名増)、実習受入先数八七七一五六部門、受



実施概況説明

○今年の特徴として、募集数、応募数、実施数のいずれも昨年度を上回り、全体としてはインターンシップに対する気運が高まっている。  
○毎年課題となっている、受入登録しても学生の応募が出ない未応募先は昨年度よりは数も率も低下したが三七先(三一・六%)あり、特に製造業や建設業、介護系での未応募が多い傾向が続いている。また、今年度も人気業種や大企業など特定受入先に応募が集中しており、受入先によっては募集の十倍以上の応募があった先も複数先みられる。  
○アンケートの自由意見では、この事業に対し、学生、大学、受入先それぞれから応募から決定までの手続きと提出書類の簡素化を要望する意見が出された。



パネルディスカッションと会場の様子

○実施した学生からは、受入先のカリキュラムに対し、実務体験時間の拡大や何らかの達成感を得ることができるよう実習を望む声が多く、新規商品開発やシステムの改善などに学生を巻き込むような実習が望ましいと考える。  
○その後、今夏インターンシップを実施した学生代表四名、実習をサポートした大学代表二名、受入した受入先代表三名の合計九名によりパネルディスカッションが行われた。パネルディスカッション後は会場からも感想や質問が出され、活発な会となった。

## ◆パネルディスカッション概要◆

テーマ「インターンシップ実習の成果と課題」

【パネリスト】(順不同)  
【学生】 ( ) 内は実習先

- ①西武文理大学 サービス経営学部サービス経営学科 三年 飯島優花氏(株ボン)
  - ②埼玉大学 教育学部学校教育養成課程三年 八木亜麻氏(埼玉日産自動車(株))
  - ③東洋大学 工学部機械工学科 三年 伊東大介氏(株ウエルディングアロイズ・ジャパン)
  - ④日本工業大学 機械システム学群ものづくり環境学科 三年 武田愛美氏(株飯野製作所)
- 【大学】
- ①十文字学園女子大学 就職支援部就職支援課 部長 本間 修氏
  - ②城西大学 現代政策学部社会経済システム学科 准教授 渡辺博子氏
- 【受入先】
- ①吉野電化工業(株) 執行役員総務部部長 大島 健氏



学生、大学、受入先のパネリスト9名

## 【課題・要望について】

【学生】  
○実習期間が五日間では短い。もっと深く理解したいと思った。  
○受入先の合否連絡を早くしてほしい。否の場合、次の実習先に応募することが困難。  
○交通費は補助していただきたい。

## 【大学】

○実習先として優良中小企業なども紹介しているがまだまだ高望みの学生も多い。  
○就職環境が好転しているのでインターンシップについてものんびり構える学生が増えた。  
○受入先からは実習態度など学生に対する率直な意見を聞きたい。

## 【受入先】

○専用ホームページが無機質。募集要項の改善や写真などビジュアルを用いた方が学生にも伝わる。  
○しっかりと目標を持った学生に参加してもらいたい。  
○インターンシップは複数先体験した方が勉強になるし、入社後のミスマッチも解消できると思う。

## ◇パネルディスカッションでの 発言要旨◇

### 【成果について】

【学生】  
○実務体験ができ、大学では学べないことも教えられた。  
○積極的な姿勢の大切さを学んだ。  
○あらためて地域貢献や社会貢献の必要性が理解でき、自分の目標が明確になった。

### 【受入先】

○指導する側の難しさを知ると同時に社内活性化にも繋がった。  
○実習テーマを与えることにより、その成果などについて学生との意見交換も活発に行えた。  
○毎年登録しているので自社の名前が徐々に認知され、採用面でも改善されている。



学生パネリスト：左から西武文理大学・飯島さん、埼玉大学・八木さん、日本工業大学・武田さん、東洋大学・伊東さん



第五回 西村会長杯争奪 会員親睦ゴルフ大会を開催

五大工業・松浦広展社長が  
総合優勝、ベストグロス賞も獲得

西村和義会長杯争奪の第五回目となる会員親睦ゴルフ大会が、二月五日(金)、武蔵カントリークラブ 笹井コースにおいて、六組二四一名の参加で開催された。今回は昨年四月にリニューアルされた笹井コースで開催し、プレ後のパーティは新しくなったク

第5回西村会長杯 親睦ゴルフ大会主要結果

(平成26年12月5日(金) 武蔵カントリークラブ 笹井コース)

1. 上位入賞者

(ダブルペリア/敬称略)

順位	氏名	会社名	役職名	アウト	イン	グロス	HC	ネット
優勝	松浦 広展	五大工業(株)	代表取締役社長	39	46	84	12.0	72.0
準優勝	根岸 節子	(社福)単人会まきば園	理事・施設長	49	53	102	28.8	73.2
3位	吉野 寛治	吉野電化工業(株)	代表取締役社長	49	51	100	26.4	73.6
4位	佐藤 誠	あすかビルサービス(株)	代表取締役社長	49	51	100	25.2	74.8
5位	星野 時夫	(株)Liviko	代表取締役社長	48	51	99	24.0	75.0

ベストグロス	松浦 広展	五大工業(株)	代表取締役社長	39	46	84	—	—
--------	-------	---------	---------	----	----	----	---	---

2. シニアの部

優勝	吉野 寛治	吉野電化工業(株)	代表取締役社長	49	51	100	26.4	73.6
準優勝	星野 時夫	(株)Liviko	代表取締役社長	48	51	99	24.0	75.0

3. グランドシニア

優勝	木村 吉男	(株)久喜菖蒲工業団地管理センター	代表取締役社長	50	54	104	28.8	75.2
----	-------	-------------------	---------	----	----	-----	------	------



富士山をバックに朝の集合写真

ラブハウス内で行われた。前日の雨模様から一転、冬晴れの青い空に真っ白く雪化粧した富士も顔を出し、絶好のゴルフ日和となり、リニューアルされた名門コースでアウトとイン三組づつに分かれての同時スタートにより日頃の腕前を競った。朝のミーティングでは、細沼哲夫競技委員長(日本伸管(株)代表取締役会長)の挨拶に続き、ルール説明や初参加の方の紹介などが行われた。今回は四名の方が初参加となった。

会場で、総合優勝となる第五回西村会長杯にはアウト三八、イン四六、グロス八四、ハンデ二、ネット七二で松浦広展氏(五大工業(株)代表取締役社長)が輝き、ベストグロス賞も獲得した。六〇歳以上のシニアの部では、吉野寛治氏(吉野電化工業(株)代表取締役社長)が優勝、七〇歳以上のグランドシニアの部は、木村吉男氏(株)久喜菖蒲工業団地管理センター代表取締役社長)が優勝した。

表彰式は、細沼競技委員長の開会挨拶に続き、総合優勝の西村会長杯、シニア優勝、グランドシニア優勝、順位賞などがそれぞれの受賞者に授与された。その後、懇親会で、各賞を獲得された方々がスピーチ、そして今回初参加の方々が自己紹介を行い、情報交換ならびに懇親なども図られ、和やかに閉会となった。なお、次回は、五月二九日(金)、武蔵カントリークラブ・豊岡コースで開催を予定している。



グランドシニア優勝の(株)久喜菖蒲工業団地管理センター・木村吉男社長



シニア優勝の吉野電化工業(株)・吉野寛治社長



総合優勝の五大工業(株)・松浦広展社長



コバトン

# 埼玉県からのお知らせ

## 冬の節電に御協力を

この冬の東京電力管内の電力需給については、余裕があるとの見通しが政府から出されています。

しかし、この見通しは企業や家庭における節電の定着を見込んでいます。また、厳寒による需要急増や火力発電所の不測の停止などにより、電力需給が逼迫する可能性もあります。皆様には、引き続き無理のない範囲で着実に節電を実施していただくよう、御協力をお願いします。

節電をお願いするのは、平成26年12月1日(月)～平成27年3月31日(火)の平日9時～21時です。具体的な節電メニュー等については、政府の節電ポータルサイトを御覧ください。

<http://seisuden.go.jp/>  
お問い合わせ先  
県産業労働政策課

(048-830-3723)

## 知事のアセアン(ベトナム・タイ)訪問について

知事は、成長著しいアセアン市場

に進出する県内企業への支援体制を整備するため、10月27日から31日までベトナムとタイを訪問しました。ベトナムでは、ホアン・チュン・ハイ副首相やトー・フイ・ルア共産党中央組織委員長、タイではブラーモート・ウィッタヤースック工業副大臣と会談し、現地政府との協力関係を一層強化しました。また、両国でビジネス交流会を開催し、県内企業のネットワークをさらに拡充したほか、現地における今後のビジネス環境改善に役立てるため、現地進出県内企業の視察などを行いました。

お問い合わせ先  
県企業立地課  
(048-830-3766)



ホアン・チュン・ハイ ベトナム社会主義共和国副首相との会談

## 彩の国ビジネスアリーナ 2015に御来場ください

平成27年1月28日(水)と1月29日(木)にさいたまスーパーアリーナで「彩の国ビジネスアリーナ2015」を開催します。

このイベントは、埼玉県を中心に関東甲信越地域の広域的な取引や技術の交流をすすめる、ビジネスチャンスをさらに広げるために開催している国内最大級の展示商談会です。

当日は経営に役立つ講演会等も 있습니다。是非御来場ください。公式HPから事前に入場登録をされた方は、スムーズに御入場いただけます。

詳細はHPを御覧ください。  
<http://bizmatch.saitama-jor.jp/>  
お問い合わせ先  
埼玉県産業振興公社  
(048-647-4086)  
県産業支援課  
(048-830-3910)



彩の国ビジネスアリーナ2014の様子

## 職業訓練校の合同文化祭 「彩の国総合技能展」へ御来場ください

県内職業訓練校の訓練生の高い技術力を御覧いただくために、県立及び民間職業訓練施設が合同で文化祭「彩の国総合技能展」を開催します。訓練生の作品の展示等を行いますので、従業員の採用を御検討されている事業所をはじめ多くの皆様の御来場をお待ちしております。

○日程  
3月6日(金)午前10時～午後6時  
3月7日(土)午前10時～午後4時  
○会場  
東部地域振興ふれあい拠点施設

【ふれあいキューブ】(春日部市南1の1の7:春日部駅西口徒歩5分) ※入場無料・事前申込み不要  
お問い合わせ先  
県産業人材育成課  
(048-830-4598)

## 「彩の国はたらく情報館」をリニューアルしました

在職者の方へのスキルアップ情報等を発信している「彩の国はたらく情報館」をリニューアルしました。主な変更点は次の3点です。

- ①トップページに在職者の方、事業者の方、学生の方、求職者の方向けの入口を開設
  - ②必要な情報に素早くたどりつくことができるようにサイト内検索エンジン機能を追加
  - ③様々な団体が実施している求職者向けの会社説明会やセミナー、合同面接会情報を一覧で掲載
- HP「はたらく情報館」で検索、又は、<http://www.eatly.ne.jp/hataraku/index.asp>  
お問い合わせ先  
県産業人材育成課  
(048-830-4601)

## 企業の精神障害者雇用を支援します

平成25年6月に障害者雇用促進法が改正され、法定雇用率の算定基礎に精神障害者が加わることとなりました。

精神障害者の就職件数は年々増加しており、法律の改正により今後ますます就労の場は広がっていくと考えられています。企業の障害者雇用を支援している埼玉県障害者雇用サポートセンターでは、平成26年度から精神障害者の

雇用支援を強化しています。

精神保健福祉士や経験豊富な専門スタッフのチームが各企業の状況に応じて精神障害者の雇用や職場定着について個別支援を行います。精神障害者の雇用について関心のある方はお気軽に御相談ください。

お問い合わせ先  
県障害者雇用サポートセンター  
(048-827-0540)

## 労働セミナー特別企画を開催します

埼玉県労働セミナー運営委員会(県・埼玉県経営者協会・連合埼玉)では、労働に関する身近な問題をテーマにセミナーを開催しています。今回の特別企画では働きやすい職場づくりを目指して、事例や実務に基づいた具体的な方法を学びます。是非御参加ください。

○日程  
1月30日(金)午後2時～4時30分  
○会場  
新都心ビジネス交流プラザ(丁R北与野駅西口前)  
○テーマ  
「笑顔で仕事ができる職場環境づくりに向けて」～ポジティブメンタルヘルスへの転換～

○講師  
宮城まり子氏(法政大学キャリアデザイン学部教授・臨床心理士)  
○対象  
経営者・人事労務担当者・勤労者等 150名

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0808/nodoseminar/index.html>  
お問い合わせ先  
県勤労者福祉課  
(048-830-4518)

# 低成長時代の就業規則の

## 見直し・改訂のポイント

— 第一〇七回 —

### 労働契約法の企業実務上の 対応について(その21)



弁護士 安西 愈

## 七 労働者の損害

### 賠償すべき

### 金額をめぐって

9 従業員への高額・高率の損害賠償や求償が認められた例(その3)

近年は、従来と違って、労働者の義務違反により、会社に対して損害を発生させた場合には、厳格に損害賠償を求めるというケースも多くなっており、それゆえ、賠償金額も多額になってくる傾向にある。

今回は、そのような判例について紹介する。

(一)販売会社の営業所長が内規で定められた与信限度額を超えて商

み損害賠償請求ができるものとし、本件について、本人の勤務態度、加害行為の態様、その予防についての会社の配慮等を考慮し、二度目の高額販売高一億八〇〇万円のうち、その四分の一に当たる四五〇〇万円の限度で本人の損害賠償責任を認めたものである。

#### ① 事案の概要

本件は、電子機器等の販売業者である原告のもと従業員であった被告が、職務権限規程等に違反し原告に隠して、特定の取引相手に対し、原告が定めた与信限度額を超える多額の商品を掛け売りするなどして原告に損害を与えたとして、原告から、被告に対し、不法行為による損害賠償請求をしている事案である。

#### ② 就業規則及び職務権限違反

従業員側の義務違反については、次のように判示されている。「ところで、原告会社の就業規則五条には『社員は次の事項を守らなければならぬ』として、その三項に『職務の限度を超えて、独断的なことを行つてはならない。』との規定があり、右職務の限界については、さらに職務権限規程が定められており、これによれば、被告は、一〇〇万円以上一億円未満の販売取引については、営業管理室長の審

査を得た上で、総合企画部長及び営業本部長の決裁を、一億円以上五億円未満の販売取引については、管理本部長、総合企画部長、営業本部長及び営業管理室長の審査を経た上で、営業本部長の決裁を、それぞれ受けることと定められていたが、被告は、S社との販売取引について、右の各手続を全く履践していなかった。もつとも、一つの販売取引について、その金額を細分化し一〇〇万円以下の伝票を複数枚作成して計上した場合

#### ③ 売掛金回収不能等の損害

「認定した事実関係によれば、被告は、原告会社の従業員として、原告会社が定めた職務権限規程や取引先についての与信限度額を遵守すべきであり、これに違反することによって、雇用主である原告会社に対し、売掛金回収不能等による損害を被らせないようにすべき注意義務があるにもかかわらず、職務権限規程で定められた上司による審査や決済を全く受けず、かつ、原告会社が設定した与信限度額七〇〇万円をはるかに超えて、独自の判断だけで、S社に対し、

#### ④ 使用者と被用者との損害の公平な分担

「ところで、被告は、原告会社の被用者として、原告会社の事業の執行につき過失によって、原告会社に対し損害を被らせたものであるから、原告会社は、使用者と被用者との損害の公平な分担という見地から、信義則上相当と認められる限度においてのみ、被用者たる被告に対し、右損害の賠償請求をすることができるものと解すべきであるが、前記認定の事実関係のもとにおいては、原告の事業の性質、規模、被告の業務内容、

勤務態度、加害行為の態様、その予防についての原告の配慮等の諸事情を考慮すると、原告が被告に對して賠償を請求しうる範囲は、信義則上、前記一億八〇〇万円のパソコンの売却代金の四分の一にあたる四五〇〇万円を限度とするのが相当である。」

(平九・六・一一東京高裁判決、加賀電子事件、判タ一〇一一号一六七頁、上告棄却)

## (二)中古自動車販売会社の店長が入

金が全くない段階で商品の多数を第三者に引渡し、会社に五〇万円余の損害を与えた場合において、半分の二五七八万円

### 余の損害賠償が認められた事例

本件は、中古自動車販売会社の店長である被告が、客に車両を販売する際には代金全額が入金されてから納車するという、原告中古自動車販売会社における小売の場合の基本ルールを熟知しながら、これに反し、入金が全くない段階で、原告の従業員でもない第三者A(元従業員)に対し、短期間のうちに次々と商品の車両を多数引き渡し、その結果、本件車両一五台の価格相当額の損害を生じさせたものであり、被告が店長として職務を遂行するに当たり、重大な

過失があったことは明かであるとされ、当該労働者に対する損害賠償が認められたものである。

### ①事案の概要

本件は、中古自動車販売会社の販売店店長であった被告Aに対し、①当人が在職中、元従業員であるAと意を通じまたは重大な過失により、代金の支払いを受けな

### ②販売の基本ルール違反

「被告店長は、客に車両を販売する際には代金全額が入金されてから納車するという、原告会社における小売りの場合の基本ルールを熟知しながら、この基本ルールに反し、入金がかくくない段階で、原告の従業員でもないAに対し、短期間のうちに次々と商品である車両を多数引き渡し、その結果、本件車両一五台の価格相当の損害を生じさせたものであり、被告がCM店の店長として職務を遂行するに当たり、重大な過失があったことは明らかというべきである。」「また、近隣店舗の従業員がAを信頼していたとしても、そのような指導、信頼は、原告を退職し、一介の中古車ブローカーとなった

Aに関するものではないことは常識的に明らかである。また、Aが被告に對して行った説明は、代金支払が確実に行われることを示すものではなく、原告に代金が入金される前に、原告の従業員でもないAに車両を引き渡すという内規違反行為をあえて行う理由にはならない。当初の一二台は代金が入金されたといっても、常時入金された代金以上のものが未払いとして存し、しかもその総額は増加する一途であった理屈であるから、

代金の一部が入金となったことも、被告の重過失を否定するものとはいえない。」

### ③損害について

「原告は、本件車両の仕切価格をもつて損害と主張するところ、この仕切価格とは、直営店又は加盟店がDネット又はオークションに出品するときに設定する価格であり、直営店又は加盟店が顧客から購入した価格にその店舗の利益分が上乗せされているが、出品店は、時間が経過すればするほど価値が低減するという中古車市場の特性を考慮し、中古車市場の相場も十分調査の上、短期間のうちに落札されるような価格を仕切価格として設定している。」

そうすると、仕切価格は、中古

車市場において業者が車両を仕入れる場合の相場価格にほぼ見合うものであって、原告が当該車両を容易に売却しえた価格ということができるから、この価格をもって損害額とすることは妥当であり、この点に関する被告の主張は採用できない。」

以上から、原告の損害は、その主張のとおり合計五一五六万七六〇〇円と認められる。」

### ④使用者と被用者との損害の公平な分担

「Aとの取引により原告に生じた上記損害は、Aの言を安易に信じ、原告の内規に反する取引をあえて行った被告の重大な過失によってもたらされたものであることは前記のとおりである。」

しかし、使用者が、その事業の執行につきなされた被用者の加害行為により直接損失を被った場合、使用者は、その事業の性格、規模、施設の状態、被用者の業務の内容、労働条件、勤務態度、加害行為の態様、加害行為の予防ないし分散についての配慮の程度その他諸般の事情に照らし、損害の公平な分担という見地から信義則上相当と認められる限度において、被用者に対し同損害の賠償を請求することができると解すべきである

(最高裁判所昭和五一年七月八日第一小法廷判決・民集三〇巻七号六八九頁参照)。そして、原告の就業規則が「従業員が故意又は重大な過失により会社に損害を与えた場合は損害の一部又は全部を賠償させることがある」旨定めるのも、上記と同様の観点から、過失が軽過失に留まる場合は不問とし、故意又は重過失による場合であっても、事情により免責又は責任を軽減することを定めたものと解される。」

しかるところ、前記認定事実及び証拠によると、①本件取引と同様にして被告がAに引き渡した車両一二台分は代金が決済され、原告はこれにより一台あたり二〇ないし三〇万円程度の販売利益を得ていること、②Aが退職時に原告に對し負担していたオデッセイの代金約三〇五万円は本来回収不能となるはずのところ、Aが前記一連の行為によつて得た金員により返済がされていること、③本件は店舗の売上げ実績を上げたいという被告の心情をAに利用された結果であつて、被告が直接個人的利益を得ることを意図して行ったものではないと認められること、④被告が店長に就任する前、当該店は業績の上からない店舗であつたが、被告は、店長に就任した後同



留学生数拡大のための課題と産業界への期待について  
聞く

— 立命館アジア太平洋大学の  
横山研治国際経営学部  
長から／教育問題委員会  
企画部会

経団連は11月4日、都内で教育問題委員会企画部会（三宅龍哉部会長）を開催した。当日は、立命館アジア太平洋大学（APU）国際経営学部長・大学院経営管理研究科長の横山研治氏から、留学生数拡大のための課題と産業界への期待について説明を聞くとともに懇談した。

■APUにおける留学生受け入れのための環境

横山氏はまず、APUが2000年に開学し、現在は国内出身の学生3000人と海外出身の留学生2600人で構成されていることと、留学生のほぼすべてが学位の取得を目指す正規留学であることなどを紹介した。また、開学当初からの方針として「国内出身と海外出身の学生比率を50対50、同様に教員の比率も50対50、50カ国以上から学生を集めるという「3つの50」があった」と説明。それを

具体化するための戦略として、「非漢字圏を含め多様な国々から留学生を集めることが必要であり、そのために、多様な学事歴に対応できるように入学・卒業時期を年2回設定すること、一つの科目を日本語・英語の両方で開講し、学生が語学力に合った講義を取れるようにすることなどが重要である。加えて、経団連会員企業を中心とした40億円の寄付金を原資に、留学生の出身国の経済発展の度合いに応じ、6段階で留学生の授業料を減免する制度を設けている」と説明した。

さらに日本への留学に対するニーズについても言及し、「留学生が日本で学びたい分野は、理工系であればエンジニアリング、サイエンス、テクノロジー、社会科学であればマネジメントなどであり、APUではマネジメントのコースを提供している。他方で、リベラル・アーツについては、依然として欧米の大学が高い競争力を持っているため、日本で学びたい留学生は少ない」と指摘した。

■今後の課題と産業界への期待

留学生数拡大のための今後の課題として、「先の授業料減免制度との関係で、多様な国から留学生

を呼び込みキャンパスにおける国際的環境を充実させればさせるほど、財政負担が高くなるというジレンマがある。奨学金基金の創設により、財政の安定化を図りたい」と語り、経済界に対する期待として財政支援を示唆した。また「留学生にとっては、学部卒業後、日本の有名企業に総合職として就職できることがAPU留学の大きな魅力となっている」と指摘したうえで、「日本企業への就職率の高さを、APUのブランドとして活用していきたい」と強調した。

提言「わが国企業の競争力強化に向けて」を公表

経団連は11月18日、提言「わが国企業の競争力強化に向けて」を公表するとともに、関係方面に建議した。提言では、「企業の開発力強化」と「地域活性化」に焦点を当て、その両立に向けてはイノベーションが大きな軸になるとの考えを提起している。

■新製品等の開発の重要性

製品のデジタル化やモジュール化等を背景に、製品のライフサイクルが短期化する傾向にあるなか、わが国企業がグローバルな市場でシェアを拡大するには、競争力のある新製品等を迅速かつ継続的に開発し、市場に提供していくこと

が求められる。その際、イノベーションの創出が競争優位実現のカギを握るが、地域の協力企業等と連携して革新的な製品を開発している企業が多いことから、イノベーションの創出に向けた取り組みと地域経済の発展は関連性が強いと考えられる。

■企業間連携における課題

しかし、こうした企業間の連携は、わが国企業を取り巻く国内外の環境の変化に伴い、委託側・受託側双方で課題を抱えている。例えば委託企業では、開発力の強化に向けて、スピードと精度を兼ね備えたイノベーションモデルが望まれていくものの、その構築は容易でなく、研究開発投資の回収率の向上が課題となる。また、受託企業においても、委託先からの価格・納期・品質に対する要請に加え、開発工程の分業に対する提案力や開発力の向上等、さらなる努力が求められる。

■開発力向上と地域活性化の両立を目指した政策支援

このような課題を克服すると同時に、地域経済社会の維持・発展を図るためには、地域経済の中核を担う企業がさらなる競争力を身につけるとともに、各地域のそれぞれの主体が自らの強みを活かすかたちでイノベーション活動を進めていくことが重要となる。そこ

で、提言ではそのための政策上の支援策として、次の3点を提示した。

1点目は、企業間連携の再構築である。企業の集積にとどまらず、地域金融機関や研究機関等が幅広いかたちで連携体制を再構築することで、従来の産業クラスターを再生・強化する。それとともに、クラスター間を連携させることで、各地に点在する産業や企業の強みを一段と活かすという観点から、各施策の一体的な運用が欠かせない。

2点目は、産学連携の拡充である。研究機関が保有するシーズを企業の製品開発に活かし、企業のコア・コンピタンス形成につなげるとともに、地域に人材をつなぎとめるため、適切な雇用の創出や人材輩出のミスマッチの防止等に取り組み必要がある。

3点目は、新しい連携を支える仕組みの整備である。連携の効果を一層高めるには、(1)クラスター内の関係主体の協力を後押しする「活動体」によるコーディネート機能の発揮(2)地方自治体の首長の強いリーダーシップのもと、地域経済を支える関係者の合意形成および中長期的な戦略の策定(3)地域金融機関の広域連携——による産業クラスター間の連携の強化・促進がカギとなる。

事業だより

二月一日～二月二四日

- ◆二・一 埼玉大学研究開発フ  
ォーラム(ソニックシテイ)
- ◆二・二 第五次小笠原洋上  
研修第四回集合研修(ソニック  
シテイ)
- ◆二・四 第二回企業戦略研究  
会(ソニックシテイ)
- ◆二・九 中部地区協議会(関  
東グリコ(株)北本ファクトリー)
- ◆二・一〇 第三回CSR委員  
会(ソニックシテイ)
- ◆二・一五 第四回人事労務委  
員会(ソニックシテイ)
- ◆二・一九 第六回特別セミナ  
ー(ソニックシテイ)
- ◆二・二四 第一三回トップセ  
ミナー(ソニックシテイ)

★第三回クローバル委員会

日時 一月一九日(月)一四時～一六  
時四〇分

会場 ソニックシテイ四〇三・四  
〇四

内容 改めて考える、ASEAN  
進出・展開のポイント

講師 (株)フォーバル海外デイベジ  
ヨン 広幡勝典氏

★埼玉大学特別公開講座

日時 一月二二日(水)一四時～一六  
時

会場 ソニックシテイ四〇四

内容 長期的なアジア経済の成長  
性

講師 埼玉大学経済学部教授 田  
口博之氏

★第三回企業戦略研究会

日時 一月二九日(木)一四時～一六  
時三〇分

会場 ソニックシテイ四〇三・四  
〇四

内容 M&Aセミナー①最近のM  
&A動向 ②中堅・中小企



第203回

新年明けましておめでとーございま  
す。  
読者諸氏の皆様にとって本年もご健  
勝で素晴らしい良き一年でありますよ  
うお祈り申し上げます。

共に本欄もご愛読下さいます  
ようお願い申し上げます。  
▼衆議院も十一月二十一日に解  
散し、十二月に入り公示があり、  
選挙の投票日は十四日なので、  
現時点では判明していませんが、  
師走の多忙な気忙しい時期に、  
六百億円強とも伝えられる税金  
をつかっの総選挙が果たして  
必要だったのかと、懸念を抱く  
国民も多かったような声を耳に  
している。選挙結果は不明だが、  
新しい年を迎えて国全体が活気  
ある良い方へ向かって欲しいと  
願ってやまない。

こんな時にこんな事を!

和宮英之 エッセイスト

の展開が現時点では不明確だが、非常  
に不安定な状態が続くと思われな  
い。何故ならば、その要因の多くは中  
国に握られているといっても過言では  
ない。自然災害面でもCO2問題やP  
M2.5がある。併せて温暖化の気象  
異常で台風や水害、そして地震や火山  
噴火が頻繁に起っている。社会情勢も  
徐々にアベノミクスの影響が浸透して  
生活安定につながってくれたらと願っ  
ているが、やはり国が栄える源は中産  
階級に活気がみなぎればと思っ  
ている。しかし、現状はこ  
く一部の富裕層と多くの  
低所得者で、中産階級は  
徐々に少なくなってきた  
いる。

▼政治も含めて全般的に  
今年、『中途半端な一年  
になりそう!』で、よく  
言えば、改善や改革を引  
き出す変動時期と考えて  
いた方がいいのかもしれ  
ない。

▼前回号での女性の積極  
的活用に関して「民間企  
業で女性が経営幹部とし  
て活躍いくためには、ま  
ず独身でなければ」と  
いう電話が数人からあつ  
た。併せて相当な高収入  
も。相変わらず仲間や女子会、部下との  
飲み会が多いらしい。企業では従来同  
様に、男尊女卑傾向が強く、最後に出  
てくる言葉は「女のくせに生意気だ!  
偉そうな事をいうな!」などと真剣な  
議論もせずすべて感情論で押し通し  
てくる傾向も強いとも。企業人・社会  
人として考える時なのかも知れない。

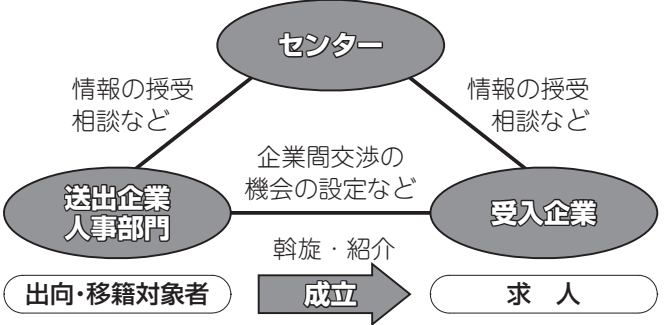
全国ネットの人材情報で、  
出向・移籍等の支援!

お気軽に  
ご相談ください

企業間の人材マッチングを  
サポートしています。

**信頼と安心**  
経済・産業団体と  
厚生労働省の協力  
で設立された公益  
法人です。

**無料**  
情報の提供、相談、  
あっせん費用は  
かかりません。



●お問い合わせ  
☎048-642-1121(土・日・祝日休)  
http://www.sangyokoyo.or.jp/

出向・移籍の  
専門機関  公益財団法人  
産業雇用安定センター 事務所

業のM&A活用法  
講師 ①野村証券(株)企業情報部次長 宮田 寛氏  
②(株)日本M&Aセンター執行役員 鈴木安夫氏

★第一四回トップセミナー  
日時 一月三〇日(金)一三時三〇分～一六時  
会場 パレスホテル大宮

内容 なぜ教育に科学的根拠が必要か、科学的なエビデンスに基づく教育政策とは  
講師 慶応義塾大学総合政策学部准教授 中室牧子氏

★春季西部地区協議会  
日時 二月二日(月)一三時三〇分～一六時三〇分  
会場 東上パールビルディング

内容 ①春季労使交渉に臨む経営側の基本姿勢  
②勝てる営業戦略  
講師 ①経団連事業サービス人事賃金センター長 平田武氏  
②(株)インサイト経営代表取締役 飯塚英太郎氏

★第三回産教教育委員会「キャリア教育アワード表彰式」  
日時 二月三日(火)一三時三〇分～一五時三〇分  
会場 パレスホテル大宮三階チェリールーム

★春季南部地区協議会  
日時 二月四日(水)一三時三〇分～一六時三〇分  
会場 川口総合文化センター・リリア

★春季中部地区協議会  
日時 二月五日(木)一三時三〇分～一六時三〇分  
会場 ソニックシティ九〇六

内容 ①春季労使交渉に臨む経営側の基本姿勢  
②「ちょこつと」改善が企業を変える、大きな変革を実現するヒントとは  
講師 ①経団連事業サービス人事賃金センター長 平田武氏  
②柿内幸夫技術士事務所所長 改善コンサルタント・慶応義塾大学大学院経営学研究科特別招聘教授 工学博士 柿内幸夫氏

〈新入会のご案内〉

エム・ケー(株)  
代表取締役 小林 勁  
日野市大坂上一三〇一八MKビル  
電話〇四二一五八九〇二二二  
(資)一億円  
(従)三三名  
不動産業

(境野養鶏)  
代表取締役社長 境野 徳夫  
本庄市新井九五一一七  
電話〇四五五二四一一七七

(資) 一千五百万円  
(従) 一一〇名

採卵鶏ひなの育成/育成びな  
両神興業(株)  
代表取締役社長 西村 耕一  
秩父市下宮地町一八一  
電話〇四九四一三一一二〇〇  
(資) 一億八千万円  
(従) 四六名

各種碎石製造販売業  
各種キョーワナスタ

〈代表者変更〉

代表取締役社長 菅川 順平(旧 杉山 和男)  
埼玉トヨタ自動車(株)  
代表取締役社長 嶋田 光剛(旧 代表取締役会長 嶋田 久仁彦)

坂戸ガス(株)  
取締役社長 茂木 通則(旧 原 宏)  
二チバン(株)埼玉工場  
工場長 飯田 徹(旧 田中 正志)

〈社名変更〉

(株)あなたの幸せが私の幸せ……

(旧)もしもん(株)

(株)ナスタ

〈住所変更〉

日本自動車管理(株)

さいたま市北区日進町一―七三二―一

(旧)さいたま市北区日新町一―七三二―一

埼経協ニュース三八四号  
2015年1月8日発行  
さいたま市大宮区桜木町一七五八七  
ソニックシティビル九階  
発行所 一般社団法人埼玉県経営者協会  
発行人 根岸茂文  
編集人 根岸茂文  
印刷所 望月印刷株式会社  
さいたま市中央区阿弥五八三六  
電話〇四八六四七四〇〇

★春季北部地区協議会  
日時 二月九日(月)一三時三〇分～一六時三〇分  
会場 マロウドイン熊谷

内容 ①春季労使交渉に臨む経営側の基本姿勢  
②なぜ人は不正に走るのか、今企業に求められる経営倫理  
講師 ①経団連事業サービス人事賃金センター長 平田武氏

★第一五回トップセミナー  
日時 二月二五日(水)一四時～一六時  
会場 ソニックシティ四〇四

内容 なぜ、日本人はマネジメントが苦手なのか、P/DCAを超えたP/h・P手法を活用する  
講師 政策研究大学院大学教授 岡本 薫氏

★第五回人事労務委員会  
日時 二月二七日(月)一五時～一八時

★第六回人事労務委員会  
日時 三月五日(木)一三時三〇分～一六時三〇分  
会場 ソニックシティ四〇三・四〇四

内容 過重労働解消と人材の確保・定着に向けていま経営者が取り組むべきこと、二六年一―月の過重労働解消キャンペーンの結果等を踏ま

★第一八回トップセミナー  
日時 三月二七日(金)一四時～一六時  
会場 ソニックシティ四〇三・四〇四

内容 ビジネスの成功確率を上げる、経営の失敗学  
講師 一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授 菅野 寛氏

★平成二六年度ものづくり大学特別公開講座  
日時 二月二〇日(金)一四時～一六時  
会場 パレスホテル大宮

内容 僕はミドリムシで世界を救うこと  
講師 (株)ユグレナ代表取締役社長 出雲 充氏

★第一回少子高齢化対策研究会  
日時 二月二三日(月)一四時～一六時  
会場 ソニックシティ四〇四

内容 超高齢社会日本の社会保障制度のあり方とは、将来の医療、介護はどうなるのか  
講師 埼玉大学経済学部教授 新井光吉氏

★第一六回トップセミナー  
日時 三月四日(水)一三時三〇分～一六時三〇分  
会場 ソニックシティ四〇一・四〇二

内容 日本の人事管理を作り直す、制御社員「契約・高給」を活かす会社になる  
講師 学習院大学経済学部経営学科教授 今野浩一郎氏

★第一七回トップセミナー  
日時 三月二二日(金)一四時～一六時  
会場 ソニックシティ四〇三・四〇四

内容 成長する二―世紀のために、トップ少子化・地方元気戦略  
講師 明治大学政治経済学部教授 加藤 久和氏

★平成二六年度第三回理事会・特別講演会・懇親会  
日時 三月二七日(日)一三時三〇分～一八時  
会場 パレスホテル大宮四階ロースルーム

特別講演会演題 憲法論の急所、テレビが伝えない憲法の話  
講師 首都大学東京法学系准教授 木村 草太氏

★第七回特別セミナー  
日時 三月九日(月)一三時三〇分～一六時三〇分  
会場 ソニックシティ四〇三・四〇四

内容 営業・販売のプロを育成する、販売力強化研修  
講師 売れる売れる研究所代表 橋本和恵氏

★第三回地域社会問題委員会  
日時 二月一九日(木)一四時～一六時  
会場 ソニックシティ六〇四

内容 公共インフラマネジメントの動向と民間に期待される役割  
講師 (公財)埼玉りそな産業経済振興財団主席研究員 萩原淳司氏

★第二八回生き生き職場体験交流の集い  
日時 三月三日(火)九時三〇分～一七時  
会場 ソニックシティ四〇一・四〇二

内容 基調講演・事例発表・パネルディスカッション・グループディスカッション  
講師 【基調講演】  
イケア・ジャパン(株)取締役人事本部長 泉川玲香氏  
【事例発表】  
(社福)隼人会まきば園 根岸桃子氏  
川木建設(株) 夢川泉穂氏  
(株)サイオン 内藤裕季子氏

★第二九回生き生き職場体験交流の集い  
日時 三月三日(火)九時三〇分～一七時  
会場 ソニックシティ四〇一・四〇二

内容 基調講演・事例発表・パネルディスカッション・グループディスカッション  
講師 【基調講演】  
イケア・ジャパン(株)取締役人事本部長 泉川玲香氏  
【事例発表】  
(社福)隼人会まきば園 根岸桃子氏  
川木建設(株) 夢川泉穂氏  
(株)サイオン 内藤裕季子氏

★第七回特別セミナー  
日時 三月九日(月)一三時三〇分～一六時三〇分  
会場 ソニックシティ四〇三・四〇四

内容 営業・販売のプロを育成する、販売力強化研修  
講師 売れる売れる研究所代表 橋本和恵氏